

令和6年度

教育要覧

岩 沼

岩沼市教育委員会

目 次

I 概況

1. 岩沼市の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 人口の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II 教育行政

1. 岩沼市教育基本方針・・・・・・・・・・・・ 3
2. 教育等の振興に関する施策の大綱・・・・・・・・ 3
3. 令和6年度岩沼市教育目標・・・・・・・・・・ 4
4. 教育委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
5. 歴代教育委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
6. 教育のあゆみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
7. 教育委員会組織機構・・・・・・・・・・・・ 11
8. 教育委員会職員の状況・・・・・・・・・・・・ 12
9. 東日本大震災について・・・・・・・・・・・・ 13
10. 教育財政・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

III 学校教育

1. 学校施設一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
2. 児童・生徒数の推移・・・・・・・・・・・・ 17
3. 学校別児童・生徒数・・・・・・・・・・・・ 18
4. 私立幼稚園児数・・・・・・・・・・・・ 18
5. 児童・生徒の体位状況・・・・・・・・・・・・ 19
6. 学校紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
7. 学校給食・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

IV 生涯学習

1. 社会教育事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
2. 文化財保護事業・・・・・・・・・・・・ 46
3. 社会体育事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

V 社会教育機関

1. 市民会館・中央公民館・・・・・・・・・・・・ 53
2. 市民図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
3. 社会教育施設等一覧・・・・・・・・・・・・ 61

VI 各種委員会委員等名簿・・・・・・・・・・・・ 62

市 章



この市章は、「岩沼」の“岩”の字を上部に“山”、下部に“石”を図案化し、上開きにより飛躍発展途上の岩沼市を象徴したものです。

(昭和35年12月18日制定)

岩 沼 市 民 憲 章

阿武隈の流れに沿い、歴史と伝統にはぐくまれた緑の田園工業都市、岩沼市。わたくしたちは岩沼市に居住し、ここを郷土とすることに誇りをもっております。

わたくしたちの、この岩沼市が文化の香りも高く、健康で、活力に満ちた郷土として発展することを願い、この憲章を定めます。

- 1、郷土の自然を愛し、緑豊かなまちをつくりましょう。
- 1、互いに助け合い、あたたかい心で交わるまちをつくりましょう。
- 1、きまりを正しく守り、明るい風習を育てるまちをつくりましょう。
- 1、からだをきたえ、勤労を喜ぶまちをつくりましょう。
- 1、伝統に学び、教養を身につけ、教育と文化を尊ぶまちをつくりましょう。

(昭和56年11月1日制定)



市花 ツツジ



市木 黒松

I 概況

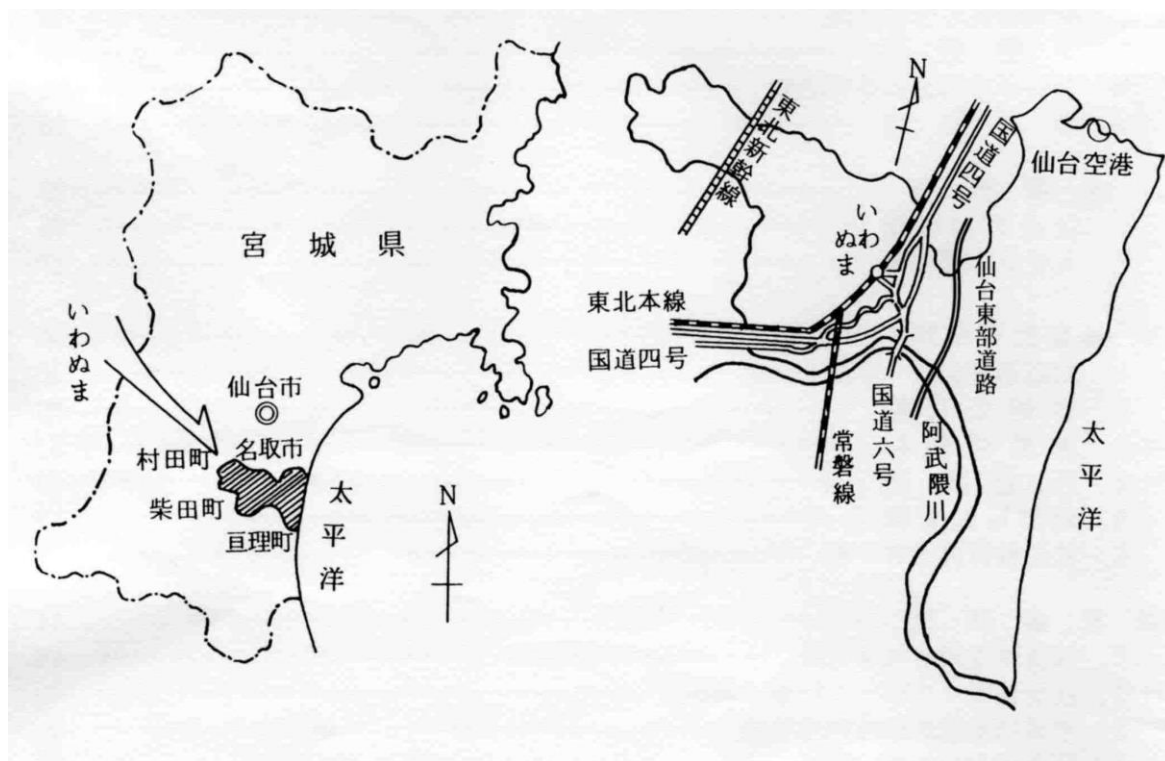
1. 岩沼市の概要

岩沼市は、宮城県南部に位置し、仙台市の南 17.6 km、東経 140 度 52 分、北緯 38 度 6 分にあり、東西約 13 km、南北約 10 km、総面積 60.45 km²で、東は太平洋、南は阿武隈川と接しており、山、川、平野、海の豊かな四季を生む自然と、過ごしやすく穏やかな気候に恵まれた環境にあります。また、J R 東北本線と J R 常磐線の合流点、国道 4 号と 6 号の合流点にあたり、仙台空港が所在するなど交通の要衝でもあります。

本市は、古くから奥州街道の宿場町、竹駒神社の門前町として栄えてきました。明治 22 年 4 月、市町村制の施行に伴って岩沼郷は「岩沼町」、東部 4 か村は「玉浦村」、西部 6 か村は「千貫村」となり、それぞれ町村の運営を行ってきましたが、昭和 30 年 4 月 1 日、この 3 か町村が合併し、「岩沼町」として発足しました。

その後、昭和 39 年の新産業都市指定などを契機に大小企業の進出が盛んになり、農業・商業を主とする町の経済基盤は、パルプ・ゴム・鉄工などを主体とした工業都市の性格も加わり、都市化の急激な進展をみて、昭和 46 年 11 月 1 日市制を施行し「岩沼市」が誕生しました。令和 3 年 11 月 1 日には、市制施行 50 周年を迎えました。

本市では、令和 6 年度から令和 15 年度までを計画期間とする「岩沼市総合計画」で実現すべき将来都市像を「人が集い 輝くまち いわぬま」と決めました。質の高いまちづくりにより市民の健やかな暮らしを支え、企業誘致や産業振興により、まちの活力維持と市民の雇用を確保するとともに、次代を担う人づくりと地域の文化を育むことにより、市民一人ひとりが輝き、笑顔があふれる魅力的な岩沼市となることを目指しています。



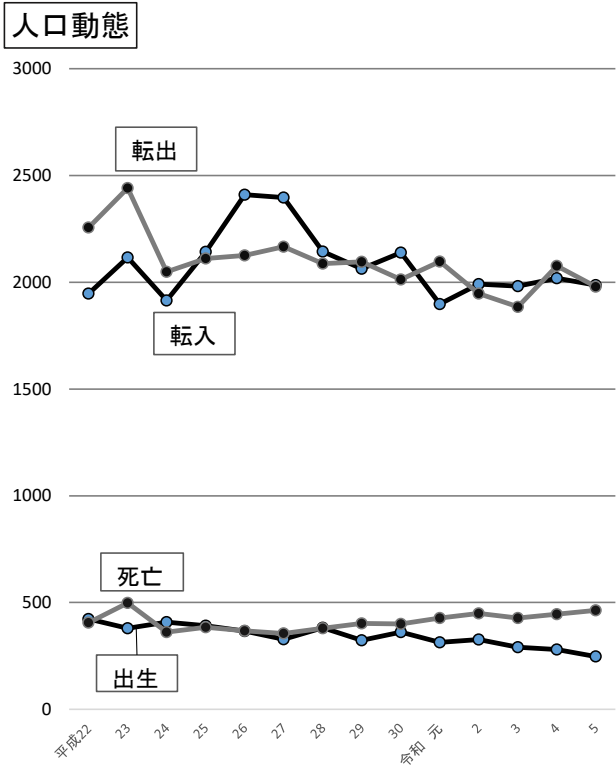
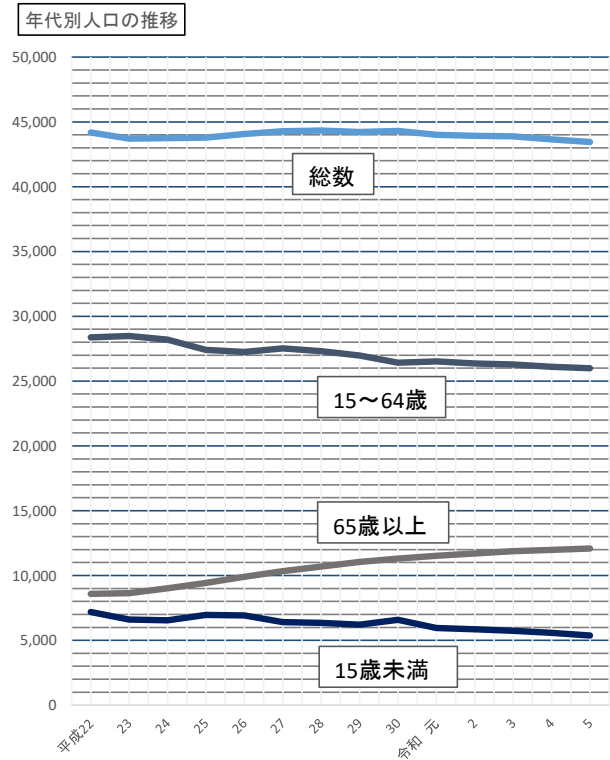
2. 人口の推移

○人口及び世帯数の推移
(昭和35年～平成22年 各年10月1日現在) (平成23年～令和5年 各年12月31日現在)

年	世帯数	人 口			1世帯当 たり人口	1km ² 当 たり人口	面積	備 考
		総数	男	女			km ²	
昭和35	4,811	26,452	12,912	13,540	5.5	446.8	59.2	国勢調査
45	6,739	29,822	14,784	15,038	4.43	503.8	〃	〃
55	9,142	34,910	17,357	17,553	3.82	588.6	59.31	〃
平成 2	10,399	38,091	18,759	19,332	3.66	627.4	60.71	〃
12	13,135	41,407	20,390	21,017	3.15	681.9	60.72	〃
22	15,519	44,187	21,700	22,487	2.85	727.8	60.71	〃
23	16,121	43,710	21,474	22,236	2.71	720.0	〃	いわぬまミニ統計
24	16,315	43,750	21,511	22,239	2.68	720.6	〃	〃
25	16,503	43,788	21,544	22,244	2.65	721.3	〃	〃
26	16,893	44,071	21,724	22,347	2.61	729.0	60.45	〃
27	17,177	44,274	21,892	22,382	2.58	732.4	〃	〃
28	17,315	44,332	21,893	22,439	2.56	733.4	〃	〃
29	17,496	44,221	21,783	22,438	2.52	731.5	〃	〃
30	17,786	44,308	21,845	22,463	2.49	733.0	〃	〃
令和 元	17,936	43,995	21,714	22,281	2.45	727.8	〃	〃
2	18,232	43,917	21,655	22,262	2.41	726.5	〃	〃
3	18,459	43,878	21,669	22,209	2.38	725.9	〃	〃
4	18,670	43,656	21,602	22,054	2.34	722.2	〃	〃
5	18,901	43,448	21,475	21,973	2.3	718.7	〃	〃

○年代別人口の推移
(平成22年～令和5年 各年12月31日現在)

	総数	年齢階層別			自然動態		社会動態		自然動態 +社会動態
		15歳未	15～64歳	65歳以	出生	死亡	転入	転出	
平成22	44,187	7,184	28,385	8,584	423	406	1,947	2,256	△292
23	43,710	6,596	28,481	8,633	380	498	2,116	2,441	△443
24	43,750	6,543	28,197	9,010	408	361	1,914	2,049	△88
25	43,788	6,953	27,399	9,436	391	384	2,142	2,111	38
26	44,071	6,911	27,257	9,903	366	367	2,410	2,126	283
27	44,274	6,410	27,531	10,333	328	355	2,396	2,166	203
28	44,332	6,338	27,308	10,686	382	380	2,143	2,087	58
29	44,221	6,203	26,978	11,040	323	402	2,063	2,095	△111
30	44,308	6,591	26,421	11,296	361	400	2,139	2,013	87
令和 元	43,995	5,943	26,528	11,524	314	428	1,898	2,097	△313
2	43,917	5,856	26,370	11,691	327	449	1,991	1,947	△78
3	43,878	5,732	26,277	11,869	291	427	1,982	1,885	△39
4	43,656	5,583	26,097	11,976	280	445	2,019	2,076	△222
5	43,448	5,373	25,991	12,084	247	463	1,987	1,979	△208



Ⅱ 教育行政

1. 岩沼市教育基本方針

未来社会を展望し、広い視野と主体性をもち、命あるすべてのものと共に生きる心豊かな人間の形成と、明るく楽しい魅力あるまちづくりをめざし、学校・家庭・地域が一体となって、

「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」

「学びと潤いにみちた地域社会の実現」

「かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興」

を中心に、市民の生涯にわたる学習の充実に努める。

2. 教育等の振興に関する施策の大綱〔対象期間 4 年（令和5年度～令和8年度）〕

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に定める岩沼市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱として、次のように定め、今後、市の各種計画との整合を図りながら、その実現に向け市全体で取り組んでいくものとする。

未来社会を展望し、広い視野と主体性をもち、様々な環境の変化に対応できる強くしなやかな人間の形成と、命あるすべてのものと共に生きる心豊かな市民による明るく楽しい魅力あるまちづくりをめざし、学校・家庭・地域が一体となって、「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」、「学びと潤いにみちた地域社会の実現」、「かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興」を中心に、市民の生涯にわたる学習の充実に努める。

○たくましさやさしさを培う学校づくりの推進

創造的で特色ある学校づくりを推進し、児童生徒の充実した学校生活の実現を期する。

社会の中で自他を認め、多様性を互いに尊重し合い、新しい時代を力強く生きるための土台となる、思いやりや社会性、強さやしなやかさ、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図り、自らの夢や志を持ち、それに向かい主体的に学習に取り組めるよう、「夢をはぐくみ、愛のある教育」の一層の充実に努める。

○学びと潤いにみちた地域社会の実現

市民の誰もがいつでも学ぶことができる環境を整え、生涯にわたる学習や交流の場等の提供に努める。

多様な学習成果の実践や活動への参画を通して、地域コミュニティの活性化につなげていくとともに、学校・家庭・地域の連携を図り、社会全体で子どもたちの豊かな人間性と社会性を育む環境づくりに努める。

○かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興

市民の豊かな情操と潤いのある生活の実現をめざし、かおり高い芸術文化とのふれあいと創造を図るとともに、先人の貴重な遺産である文化財の保護と活用努める。

市民のスポーツ環境を整備するとともに、誰もが生涯にわたりスポーツに親しむ機会や交流の場等の提供に努める。

3. 令和6年度 岩沼市教育目標 - 生涯学習社会の確立をめざして -

市民一人ひとりが、幼児期から生涯にわたる学習をととして、自己啓発や生活の向上を図り、いきいきとした健康的な生活の増進、豊かな創造性の醸成、快適な生活環境の確立、地域文化の創造を目的とした生涯学習社会の実現をめざし、総合的・体系的な基盤の整備を図る。

また、感染症対策や自然災害等に対する危機管理及び防災教育を充実させ、希望ある未来につながるように努める。

I たくましさとやさしさを培う学校づくりの推進

創造的で特色ある学校づくりを推進し、児童生徒の充実した学校生活の実現を期する。

社会の中で自他を認め、多様性を互いに尊重し合い、新しい時代を力強く生きるための土台となる、思いやりや社会性、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図り、自らの夢や志を持ち、それに向かい学習に取り組めるよう、「子どもの未来を広げる教育」の一層の充実に努める。

また、ICT教育を推進し、情報活用能力を身につけ、自ら考え行動する創造的な人材育成に努める。

1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり

(1) 学力向上の着実な推進

- ① 学びの個別最適化と協働的な学びによるきめ細やかな指導の推進
- ② 全国学力・学習状況調査や各種調査結果に基づく授業改善
- ③ 学習習慣の確立と自律した学びへの転換
- ④ 校内研究や教職員研修の充実

(2) 夢やあこがれをはぐくむ教育活動の展開

- ① 学校の実態に応じた教育課程の編成と評価活動の推進
- ② 子どもの未来を広げる学校づくり推進事業の充実
- ③ 志教育の充実による適切な進路指導及び地域と連携したキャリア教育の推進

(3) 伝統・文化の尊重と国際理解をはぐくむ教育の推進

- ① 環境教育・ふるさと教育の推進
- ② 国際理解教育の推進
- ③ 外国語活動及び外国語教育の充実

(4) 教職員の資質・能力の向上

- ① 学校経営研修の充実
- ② 若手教員の学びの場の提供
- ③ ICT教育研修の充実及び専門支援員の活用
- ④ 職能に応じた研修会の開催

2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成

- (1) 自他の命と人権を大切にし、思いやりやいたわりの心をはぐくむ道德教育の推進
- (2) いじめ防止対策の推進
- (3) 一人ひとりを大切にした生徒指導及び心のケアの充実
- (4) 安全指導の充実及び防災教育の推進
- (5) 望ましい生活習慣の育成及び食育の推進
- (6) 体力・運動能力の向上と健康教育の推進
- (7) 相互理解を図るコミュニケーション能力の育成

3 学びの多様化に応じたきめ細やかな教育の推進

- (1) 一人ひとりのニーズに応じた教育の充実
- (2) 学校指導助手及び特別支援教育支援員の適正配置
- (3) 発達障害に関する知識と対応の充実
- (4) 教育相談体制の充実
 - (不登校やいじめ、その他の課題、災害時及びその後の社会環境変化に対する心のケアの充実)
- (5) 不登校児童生徒に対する支援体制の充実
 - (多様な学びの場の構築と保護者への情報提供により社会的自立を支援)

4 魅力ある教育環境づくり

- (1) 教育施設整備計画に基づく安心して学べる学習環境整備の推進
- (2) 児童生徒一人ひとりに対応できる ICT 教育環境整備の推進
- (3) 外国語指導助手 (ALT) 活用の充実をはじめとする英語教育環境整備の推進
- (4) 教員が子どもと向き合う時間の確保 (教育 DX・働き方改革)
- (5) 学習支援ボランティアの活用と協働教育の推進
- (6) 家庭・地域社会に開かれた信頼される学校づくりの推進
- (7) 家庭における学校教育への理解促進

II 学びと潤いにみちた地域社会の実現

市民の誰もが生涯にわたり学習し、交流できる環境の提供に努める。

多様な学習成果の実践や活動への参画を通して、地域コミュニティの活性化につなげていくとともに、家庭・地域・学校の連携を図り、社会全体で子どもたちの豊かな人間性と社会性を育む環境づくりに努める。

1 生涯学習推進体制の整備

- (1) 家庭・地域・学校が連携した協働教育の推進
- (2) 生涯学習・社会教育に携わる人材育成
- (3) 持続可能な学びの循環

2 生涯にわたる学習機会の充実

- (1) 家庭教育支援の充実
- (2) 青少年健全育成活動の推進と社会参加の促進
- (3) 読書活動の推進

3 社会教育施設の有効活用

- (1) 社会教育団体活動の推進と支援
- (2) 社会教育施設の長寿命化対策の推進（環境の整備）

Ⅲ かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興

市民の豊かな情操と潤いのある生活の実現をめざし、かおり高い芸術文化とのふれあいと創造する力を養うとともに、先人からの貴重な遺産である文化財の保護と活用に努める。

市民のスポーツ環境を整備するとともに、誰もが生涯にわたりスポーツに親しむ機会や、交流の場等の提供に努める。

1 芸術文化活動の推進

- (1) 芸術文化鑑賞機会の確保と自主活動の奨励
- (2) 地域文化活動の推進
- (3) 部活動支援事業の充実（部活動地域移行の段階的な推進）

2 文化財の保護と活用の推進

- (1) 文化財の保護思想の普及と保護体制の整備
- (2) 文化財や歴史資料の保存・活用
- (3) 民俗芸能の保護・育成
- (4) 開発等に伴う埋蔵文化財発掘調査の推進
- (5) 原遺跡発掘調査の推進

3 生涯スポーツの振興

- (1) スポーツ団体及び指導者の育成・支援
- (2) 部活動支援事業の充実（部活動地域移行の段階的な推進）
- (3) スポーツ施設活用の促進（学校施設開放による活用・支援）
- (4) 市内開催の全国的、全県的大会の支援

4. 教育委員



(教育長) 及 川 浩 市



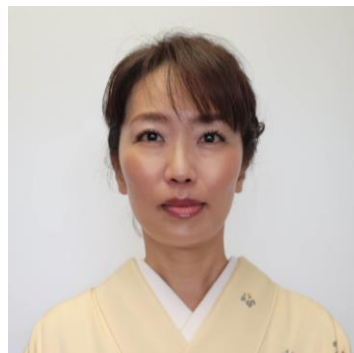
(職務代理者) 佐 藤 雅 晴
〔平成 29 年 10 月 1 日職務代理者就任〕



小 林 修 子



南 館 公 雄



木 村 紀 子

5. 歴代教育委員

① 教育委員（教育長以外）

氏 名	就任年月日	退任年月日
鎌 田 喜 善	昭 和 3 1 年 1 0 月 1 日	昭 和 3 2 年 9 月 3 0 日
中 畑 す み	昭 和 3 1 年 1 0 月 1 日	昭 和 5 4 年 9 月 3 0 日
板 橋 英太郎	昭 和 3 1 年 1 0 月 1 日	昭 和 3 4 年 4 月 2 日
松 岡 賛 三	昭 和 3 1 年 1 0 月 1 日	昭 和 3 5 年 9 月 3 0 日
渡 辺 信 一	昭 和 3 2 年 1 0 月 1 日	昭 和 3 3 年 1 0 月 3 日
白 幡 恒 雄	昭 和 3 4 年 1 0 月 6 日	昭 和 3 7 年 2 月 1 7 日
渡 辺 鮮 三	昭 和 3 4 年 5 月 1 1 日	昭 和 3 7 年 1 0 月 4 日
桜 井 清一郎	昭 和 3 5 年 1 0 月 1 日	昭 和 4 7 年 9 月 3 0 日
森 喜 吉	昭 和 3 7 年 2 月 1 8 日	昭 和 3 8 年 3 月 3 1 日
関 谷 藤 助	昭 和 3 7 年 1 0 月 5 日	昭 和 4 7 年 9 月 3 0 日
高 橋 比呂志	昭 和 3 8 年 1 0 月 4 日	昭 和 6 1 年 1 0 月 3 日
猪 股 琢 磨	昭 和 4 7 年 1 0 月 9 日	昭 和 5 0 年 3 月 1 9 日
田 村 昌	昭 和 4 7 年 1 0 月 9 日	昭 和 5 9 年 1 0 月 8 日

氏 名	就任年月日	退任年月日
佐 藤 武	昭 和 5 0 年 3 月 2 2 日	昭 和 5 9 年 1 0 月 8 日
高 橋 キイ子	昭 和 5 4 年 1 0 月 4 日	昭 和 6 2 年 1 0 月 3 日
佐 藤 敏 男	昭 和 5 9 年 1 0 月 9 日	平 成 4 年 1 0 月 8 日
安 田 莊十郎	昭 和 5 9 年 1 0 月 9 日	平 成 4 年 3 月 3 1 日
小 川 義 則	昭 和 6 1 年 1 0 月 4 日	平 成 2 年 1 0 月 3 日
曾 我 登美子	昭 和 6 2 年 1 0 月 4 日	平 成 3 年 1 0 月 3 日
高 橋 美由紀	平 成 2 年 1 0 月 4 日	平 成 2 6 年 1 0 月 3 日
小 野 秀 夫	平 成 3 年 1 0 月 4 日	平 成 7 年 1 0 月 3 日
砂 金 勲	平 成 4 年 4 月 1 日	平 成 8 年 1 0 月 8 日
佐 藤 雅 晴	平 成 4 年 1 0 月 9 日	
芳 賀 盛	平 成 7 年 1 0 月 4 日	平 成 1 1 年 1 0 月 3 日
曾 我 庸 子	平 成 8 年 1 0 月 9 日	平 成 2 4 年 1 0 月 8 日
木 下 勢 子	平 成 1 1 年 1 0 月 4 日	平 成 1 9 年 1 0 月 3 日
藤 川 チユキ	平 成 1 9 年 1 0 月 4 日	令 和 元 年 1 0 月 3 日
小 林 修 子	平 成 2 4 年 1 0 月 9 日	
南 舘 公 雄	平 成 2 6 年 1 1 月 1 日	
氏 家 真由美	令 和 元 年 1 0 月 4 日	令 和 5 年 1 0 月 3 日
木 村 紀 子	令 和 5 年 1 0 月 4 日	

② 教育長

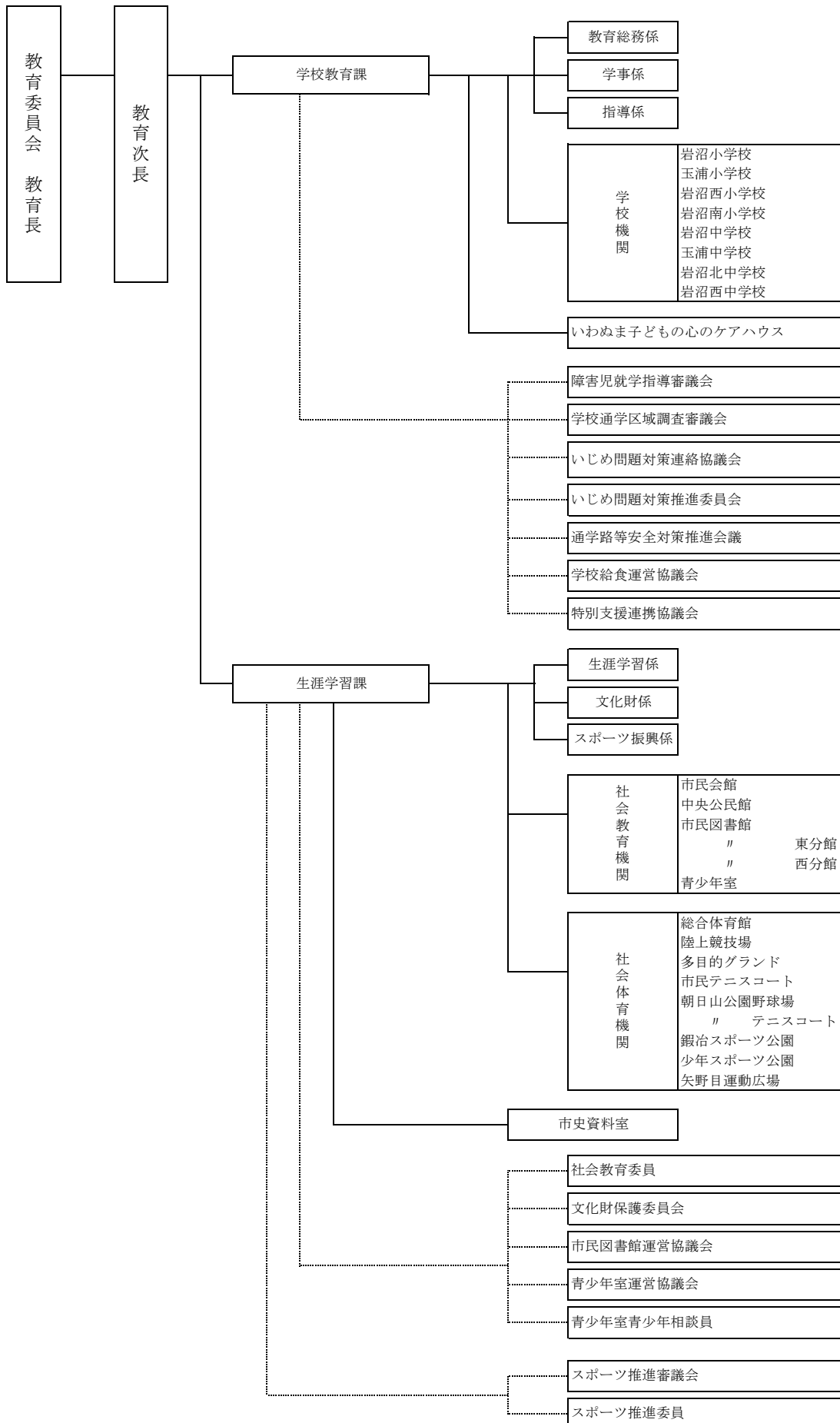
氏 名	就任年月日	退任年月日
服 部 善 吉	昭 和 3 1 年 1 0 月 1 日	昭 和 3 3 年 9 月 3 0 日
渡 辺 信 一	昭 和 3 3 年 1 0 月 4 日	昭 和 3 6 年 9 月 3 0 日
井 口 一 郎	昭 和 3 6 年 1 0 月 1 日	昭 和 4 0 年 9 月 3 0 日
平 賀 吉 郎	昭 和 4 0 年 1 0 月 1 日	昭 和 5 1 年 3 月 3 1 日
八 島 元 悠	昭 和 5 1 年 6 月 1 2 日	昭 和 5 6 年 8 月 6 日
遠 藤 幸四郎	昭 和 5 6 年 8 月 1 7 日	平 成 元 年 9 月 3 0 日
須 藤 泰 将	平 成 元 年 1 0 月 1 日	平 成 5 年 9 月 3 0 日
葉 坂 恒 夫	平 成 5 年 1 0 月 1 日	平 成 1 2 年 3 月 3 1 日
砂 金 勲	平 成 1 2 年 4 月 1 日	平 成 1 4 年 1 2 月 3 1 日
影 山 一 郎	平 成 1 5 年 1 月 1 日	平 成 2 5 年 9 月 3 0 日
百 井 崇	平 成 2 5 年 1 0 月 1 日	令 和 5 年 9 月 3 0 日
及 川 浩 市	令 和 5 年 1 0 月 1 日	

6. 教育のあゆみ

年号		事項	年号		事項
明治6	1873	小学校が6校開校（小川・南長谷・岩沼・本郷・下野郷・早股）	56	1981	岩沼市民テニスコート開設
12	1879	早股学区より寺島小学校（寺島分校）を分離			玉浦小学校校舎完成（鉄筋校舎）
22	1889	町村制で岩沼町・千貫村・玉浦村となる。	57	1982	岩沼中学校校舎増築
25	1892	下野郷・早股小学校が合併し玉浦小学校となる。			岩沼小学校管理棟完成
28	1895	玉浦小学校相野釜分教場（後、相野釜分校）設置	59	1984	岩沼市文化協会設立
35	1902	千貫小学校志賀分教場（後、志賀分校）設置			西公民館開館
大正7	1918	玉浦村立玉浦通俗図書館創立			岩沼市図書館東・西分館開設
9	1920	南長谷・小川小学校が合併し千貫小学校となる。	61	1986	岩沼西中学校開校（北中から分離、岩中を含め学区を一部変更）
昭和22	1947	学制改革による岩沼中・玉浦中・千貫中開校			岩沼市民会館・中央公民館開館
		千貫・玉浦・岩沼の3地区に公民館設置	62	1987	岩沼西小学校増築
		岩沼小に学校給食施設設置			第1回第九演奏会
23	1948	岩沼高等女学校にかわり、名取高等学校設置	63	1988	岩沼北中学校改築（一部木造）
25	1950	千貫小学校校舎火災（現三色吉）			岩沼市図書館児童閲覧室増築
26	1951	岩沼ではじめて発掘調査が行われる。	平成元	1989	第1回市民文化芸術祭
27	1952	教育委員会できる。（委員公選制）	2	1990	岩沼市陸上競技場オープン
30	1955	旧岩沼町、玉浦、千貫村合併し、「岩沼町」ができる。	4	1992	第1回いわぬまエアポートマラソン
		初の鉄筋プール岩小にできる。	5	1993	岩沼北中学校給食施設設置及び開始
31	1956	教育委員任命制になる。			岩沼市総合体育館開館
32	1957	玉浦小中学校矢野目分校（ベッツスクール）開校	6	1994	岩沼西小学校給食室増築
35	1960	玉浦小中学校矢野目分校廃校			岩沼西中学校給食施設設置及び開始
37	1962	岩沼北中学校開校（千貫中学校閉校し岩沼中を含め学区を一部変更）			玉浦中学校屋内運動場改修
39	1964	岩沼中学校校舎火災（現大手町）	8	1996	玉浦小・玉浦中学校プール改修
40	1965	岩沼中学校完成			岩沼市生涯学習基本構想策定
41	1966	岩沼公民館完成			岩沼中学校校舎改築
43	1968	玉浦中学校完成			岩沼中学校給食施設設置及び開始
45	1970	千貫小学校志賀分校廃校			玉浦中学校給食開始（北中からの搬送）
		岩沼小学校校舎建設	9	1997	岩沼市図書館貸出業務OA化
		阿武隈公園グラウンド開設	10	1998	玉浦小学校下野郷・寺島両分校廃校
46	1971	岩沼町立学習館設置			教育委員会事務局組織改正
		「岩沼市」へ市制施行			玉浦中学校校舎、屋内運動場改築
		ことばの教室（岩小）開設			玉浦中学校給食施設設置
47	1972	岩沼市民体育センター開館	11	1999	岩沼小学校北校舎大規模改造及び耐震補強
48	1973	玉浦小学校相野釜分校廃校	12	2000	小学校教材用コンピュータ導入（4小）
49	1974	玉浦公民館開館			陸上競技場3,000m障害走用水濠設置
		市営二の倉海浜プール落成			玉浦幼稚園、玉浦小学校へ併設移転
50	1975	岩沼市図書館開館			小学校指導助手導入
51	1976	市立玉浦幼稚園開園	13	2001	玉浦小学校屋内運動場改築
52	1977	千貫小学校及び千貫小学校南長谷分校廃校			児童生徒用A版机整備（～2004）
		岩沼西小学校開校（岩沼小を含め学区を一部変更）			インターネット接続（4小・4中）
		小学校週2回米飯給食実施			ユニーク先生活用事業導入
53	1978	宮城県沖地震（震度5、各学校被害大）	14	2002	岩沼市民テニスコート改修
54	1979	岩沼南小学校開校（岩沼小から分離、岩沼西小を含め学区を一部変更）			特別支援指導助手導入
55	1980	岩沼市青少年家庭教育相談室開設	15	2003	耐震度調査の実施（西小南校舎）
		第1回公民館まつり			図書館情報インターネット公開システム導入
			16	2004	玉浦幼稚園閉園
					耐震度調査（西小北校舎・南校舎・体育館）
					耐震度調査（南小校舎・体育館）
			17	2005	耐震度調査（玉小校舎・岩中東校舎・岩中体育館）
					耐震度調査（岩小体育館・北中体育館）
					放課後子ども教室推進事業（のびやか教室）開始

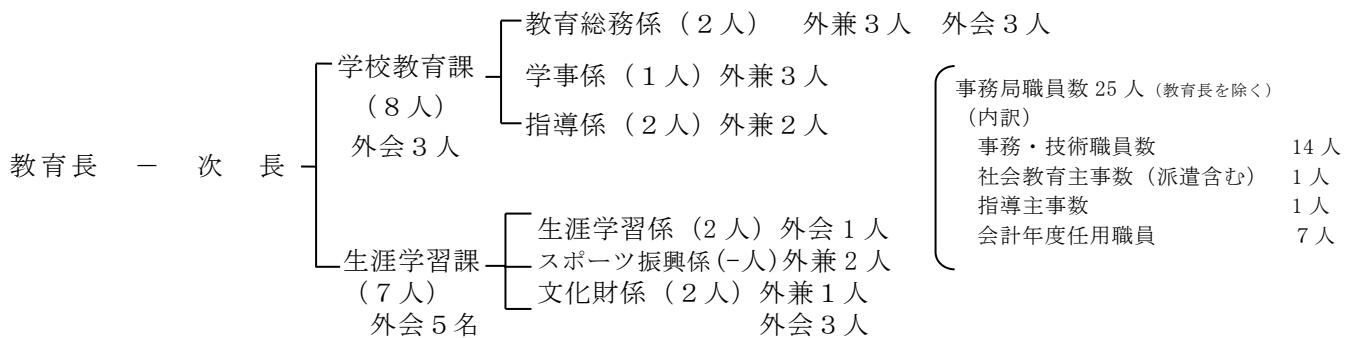
年号	事項	年号	事項
平成18	2006 只野文哉記念小中学校科学技術奨励事業開始 耐震補強工事（岩小体育館・西小校舎・南小体育館・岩中校舎・北中体育館） 岩沼公民館閉館	令和3	2021 小中学校校内ネットワーク整備業務（3. 2月） 国名勝おくのほそ道の風景地「武隈の松」保存活用計画策定（3. 3月） 朝日山公園野球場、テニスコート改修工事完了（3. 3月） 小中学校8校の体育館に換気補助送風機設置（3. 3月） 新型コロナウイルス感染防止のため公共施設休館（R3. 3. 27～R3. 5. 11、R3. 8. 27～R3. 9. 12） 市民会館空調設備改修工事完了（2. 9月着工～3. 6月完成） 学び支援教室「ほっとルーム」西中設置（R3. 4月）
19	2007 耐震補強工事（岩中・学校耐震対策完了） 岩沼西小学校特別教室増設	令和4	2022 中学校普通教室プロジェクター及び映写兼用黒板整備（R4. 1月） 西公民館閉館（R4. 3. 31） 西コミュニティセンター開館（R4. 4月） 統合型校務支援システム本格稼働（R4. 4月） 学び支援教室「ほっとルーム」北中設置（R4. 4月） 3月、2月の福島県沖地震により被害を受けた岩沼市総合体育館の災害復旧工事が完了（R4. 6月） 物価高騰対策のため、岩沼市立学校給食材料費高騰対策補助金開始（R4. 7月～）
20	2008 教育委員会点検評価開始 新市史編纂開始 岩沼中学校屋内運動場改築	令和5	2023 小学校普通教室プロジェクター及び映写兼用黒板整備（R5. 1月） 生涯学習課が市民会館・中央公民館へ移動（R5. 4月） 教育総務課が学校教育課に統合（R5. 4月） 文部科学省リーディングDX事業指定（R5. 4月） 岩沼小、玉浦小、開校150周年（R5. 6月） 休日における中学校の部活動の段階的な地域移行の取組を開始（R5. 10月） いわぬまスポーツフェスティバル（第1回）開催（R5. 12月）
21	2009 新図書館建設着工 夢あこがれプロジェクト事業開始 日本PTA全国研究大会みやぎ大会開催 走査型電子顕微鏡購入	令和6	2024 全国ICT教育首長協議会第6回日本ICT教育アワード総務大臣賞受賞（R6. 1月） JAET（日本教育工学協会）から学校情報化先進地域として認定を受ける（R6. 4月） 市民会館・中央公民館北側及び東側駐車場有料化（R6. 4月） 岩沼市民体育センター廃止（R6. 4） 岩沼西小長寿命化工事開始（R6. 6） 日本基督教団岩沼教会が国の登録有形文化財として指定される。（R6. 8）
23	2011 東日本大震災（震度6弱、各学校被害大） 玉浦小・中学校は津波により特に被害大 岩沼市民図書館開館 寺島学習館、二の倉海浜プール閉館		
24	2012 岩沼西中学校増築校舎完成（24. 2月）		
25	2013 下野郷学習館閉館		
26	2014 岩沼北中学校 給食調理業務委託開始（26. 1月） 武隈の松（二木の松）が「おくのほそ道の風景地」として国名勝に指定される（26. 3月）		
27	2015 岩沼中・玉浦中・岩沼西中学校 給食調理業務委託開始（27. 2月） 第1回岩沼市総合教育会議開催（27. 5月） 学力向上推進事業（学び塾）開始		
28	2016 岩沼に愛着を持つ人材育成事業開始 岩沼小学校・玉浦小学校トイレ洋式化大規模改修工事完了 岩沼市学校施設長寿命化計画策定 原遺跡発掘調査開始		
29	2017 玉浦コミュニティセンター開館 玉浦公民館閉館（H29. 4. 30） 岩沼西小学校・岩沼南小学校トイレ洋式化大規模改修工事完了		
30	2018 玉浦小学校・岩沼西小学校 給食調理業務委託開始（30. 2月） 岩沼北中学校・岩沼西中学校トイレ洋式化大規模改修工事完了 陸上競技場走路・フィールド改修工事完了		
31	2019 岩沼小学校・岩沼南小学校 給食調理業務委託開始（31. 2月） 体育施設指定管理者制度導入（31. 4月） 各小中学校・普通教室へのエアコン設置完了（30. 12月着工～元. 6月完成） いわぬま子どもの心のケアハウス運営開始（元. 7月） 部活動支援事業開始（元. 12）		
令和元			
令和2	2020 新型コロナウイルス感染拡大防止のため小中学校臨時休業（R2. 3. 2～R2. 5. 31） 公共施設休館（R2. 2. 29～R2. 5. 17） 岩沼中学校トイレ洋式化大規模改修工事完了（2. 3月） 玉浦小学校体育館天井防災機能強化改修工事完了（2. 10月） 玉浦中学校トイレ洋式化大規模改修工事完了（2. 12月） 岩沼西小学校体育館長寿命化改良工事完了（元. 11月着工～2. 12月完成） 小中学校学習者用端末（タブレット）整備業務（2. 12月）		

7. 教育委員会組織機構



8. 教育委員会職員の状況 (令和6年5月1日現在)

事務局



教育機関

区分		県費負担教職員									市費職員※						合計
		校長	教頭	主幹教諭	教諭	講師等	養護教諭	栄養教諭・技師	事務職員	計	栄養士	業務員	司書・司書補	学校指導助手	特別支援支援員	計	
小学校	岩小	1	1	1	25	2	1	1	1	33	0	3	1	4	2	10	43
	玉小	1	1	1	20	1	1	0	1	26	1	2	1	3	1	8	34
	西小	1	2	1	38	3	1	1	2	49	0	3	1	4	4	12	61
	南小	1	1	1	25	1	1	0	2	32	1	2	1	3	2	9	41
	小計	4	5	4	108	7	4	2	6	140	2	10	4	14	9	39	179
中学校	岩中	1	1	1	16	2	1	1	1	24	0	2	1	2	0	5	29
	玉中	1	1	1	13	1	1	0	1	19	1	2	1	1	0	5	24
	北中	1	1	2	15	0	1	0	1	21	1	2	1	1	2	7	28
	西中	1	1	1	23	4	1	1	1	33	0	2	1	1	2	6	39
	小計	4	4	5	67	7	4	2	4	97	2	8	4	5	4	23	120
合計		8	9	9	175	14	8	4	10	237	4	18 (15)	8 (7)	19 (19)	13 (13)	62 (54)	299

※括弧書き人数は、会計年度任用職員である。

—	市民会館 (4人) 外兼6人 外会1人 外兼会1人	教育機関職員数 335人 (※再掲数を除く) (内訳) 県費負担教職員数 237人 市費負担正職員数 18人 会計年度任用職員数 80人
—	中央公民館 (3人) 外兼6人 外併1人 外会1人 外兼会1人	
—	市民図書館 (3人) 外兼1人 外会14人	
—	市史資料室 (0人) 外兼3人 外会2人	
—	青少年相談室 (-人) 外兼1人 外兼会1人	
—	ふるさと展示室 (2人) 外兼1人 外会3人 ※生涯学習課文化財係再掲	
—	子どもの心のケアハウス (-人) 外会8人	

9. 東日本大震災について

平成 23 年 3 月 11 日金曜日午後 2 時 46 分、三陸沖を震源とするマグニチュード 9.0 の地震が発生し、岩沼市は震度 6 弱の激しい揺れにみまわれ、その後に襲来した高さ 8m を超える大津波により県道塩釜亘理線から東の区域では、多くの人命が奪われ住居が流出するなど未曾有の大災害となった。

地震と津波は公共施設や道路・橋梁に大きな爪痕を残したが、津波被害を受けた玉浦小中学校を含む市内全小中学校は、元の場所で平成 23 年 4 月 21 日から再開、生涯学習施設は準備の整った施設から逐次再開し、市街地型公共施設として計画された市民図書館は予定通り平成 23 年 5 月 28 日に開館の運びとなった。社会体育施設で最も被害が大きかった総合体育館は、平成 24 年 9 月から始まった大規模修繕により平成 25 年 12 月に再開した。

被災された方々の地域コミュニティを守る形で、希望者全員に順次仮設住宅に入居していただき、平成 23 年 6 月 4 日には被災地で最初に避難所を閉鎖することができた。心のケアなどのサポートセンターも、いち早く開設、震災復興計画「愛と希望の復興」を他の被災市町よりも先駆けて策定、その具現化に向けた各種事業等を行ってきた。

集団移転事業がいち早く国の認可を受けたことにより、平成 24 年 8 月 5 日に玉浦西地区の個人住宅宅地の起工式、平成 25 年 12 月、平成 26 年 3 月及び 4 月の 3 期にて宅地引き渡しを完了。平成 26 年 4 月 16 日には災害公営住宅の起工式を行い、平成 27 年 2 月には入居が始まった。震災から 5 年をかけて仮設住宅の入居者全員が自立し、平成 28 年 4 月 28 日、県内沿岸被災地では初となる仮設住宅の閉所式を行った。

また、人が住めなくなった土地を活用して震災ガレキを用いた、復興のシンボル「千年希望の丘」を整備した。平成 25 年 6 月 9 日に第 1 回植樹祭を行い、約 30,000 本の苗を植樹。その後も植樹、育樹活動が続き、約 35 万本の木々により「緑の堤防」を形成している。この場所は、震災の記憶や教訓を国内外に発信するメモリアル公園と防災教育の場として活用されている。

なお、平成 27 年 3 月 13 日、当時の天皇皇后両陛下が本市を訪問され、慰霊碑に御供花のうえ、復興状況を御視察された。

1 岩沼市全体の被害（平成 26 年 3 月刊「東日本大震災岩沼市の記録」より）

(1) 人的被害

直接死 180 人（死体確認数）※①+③の合計数

間接死 6 人（当該災害が原因で死亡）

①市内で亡くなった市民 133 人（小学生 1 人、中学生 2 人を含む）

②市外で亡くなった市民 16 人

③市内で亡くなった市外居住者 47 人

行方不明 1 人（戸籍法に基づく死亡の届出あり）

(2) 住居被害

全壊 736 戸、大規模半壊 509 戸、半壊 1097 戸、一部損壊 3086 戸、計 5428 戸

床上浸水 1611 棟、床下浸水 114 棟、非住家被害 3126 棟

(3) 道路橋梁の被害

道路被災：198 路線、239 か所

橋梁被災：19 橋

2 教育委員会所管施設の被害状況

(1) 小・中学校

施設名	被害状況
岩沼小学校	敷地内タイルなどに亀裂、破損
玉浦小学校	校舎1階、体育館の床上浸水、校庭に20cmの汚泥堆積
岩沼西小学校	エキスパンションジョイント多数破損、校舎全般に亀裂
岩沼南小学校	エキスパンションジョイント多数破損、校庭と花壇の陥没
岩沼中学校	体育館天井・周辺側溝破損、給食設備の破損
玉浦中学校	校庭に20cmの汚泥堆積、体育館外壁と敷地フェンス破損
岩沼北中学校	体育館軒裏天井落下及び窓ガラスの破損
岩沼西中学校	体育館外壁・天井パネル・照明の破損、敷地フェンス破損

(2) 社会教育施設

施設名	被害状況
市民会館 中央公民館	建物壁及び床に亀裂、建物周辺のタイル・舗装などが破損 舞台装置及び天井裏設備の破損
玉浦公民館	1階の床上浸水による床、建具、空調機器などの破損
岩沼西公民館	地盤沈下による駐車場破損、建物周りの側溝破損
下野郷学習館	1階の床上浸水による床、建具、空調機器などの破損 五間堀川拡張工事に伴い解体（平成27年3月）
寺島学習館	津波による被害で復旧が困難となり解体

(3) 社会体育施設

施設名	被害状況
総合体育館	建物本体と屋根とのジョイント部分の大規模破損
市民体育センター	天井の落下、内壁の破損
陸上競技場	走路部分に亀裂
朝日山公園 野球場・テニスコート	テニスコート面に亀裂
矢野目運動広場	津波による汚泥の堆積、トイレ設備の破損
二の倉海浜プール	津波による被害で復旧が困難となり解体
阿武隈川サイクリングコーストイレ	津波による被害で復旧が困難となり解体
多目的グラウンド	仮設住宅敷地のため、一時使用中止 （平成28年10月30日に利用再開）

(4) 指定文化財

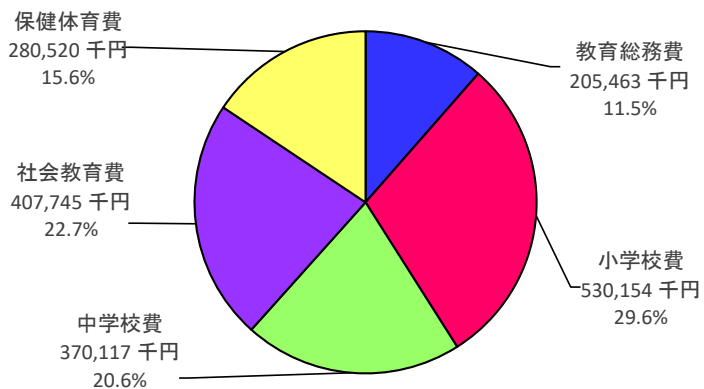
種 別			名 称	被害状況
県指定	記念物	史跡	かめ塚古墳	なし
市指定	有形文化財	絵画	米づくりの額、藍づくりの額	なし
		建造物	竹駒神社楼門（隨身門）	ズレと傾斜発生
			竹駒神社向唐門	なし
	無形民俗文化財		竹駒奴	なし
	記念物	名勝	武隈の松（二木の松）	なし
			渡邊庭園	石灯籠倒壊

10. 教育財政（令和6年度当初予算）

○教育予算 1,793,999千円

【歳入】	
	金額(千円)
一般財源	1,496,209
国県支出金	44,684
使用料	7,840
基金繰入金	41,910
市債	196,600
その他	6,756

【歳出】



令和6年度に予定している大規模工事等

- 岩沼西小学校長寿命化改修開始(第一期工事)
- 岩沼北中学校北校舎一階共用部床修繕
- 玉浦中学校給食調理室空調機設置

○一般会計と教育予算

(千円)

年 度	一般会計	教育費	比率%
平成22	15,627,000	2,176,368	13.9
23	14,055,000	1,591,668	11.3
24	32,394,000	1,439,294	4.4
25	47,763,000	1,472,262	3.1
26	28,095,000	1,465,213	5.2
27	32,437,000	1,760,851	5.4
28	18,568,000	1,529,530	8.2
29	20,151,000	1,453,556	7.2
30	19,740,000	1,837,520	9.3
31	18,409,000	1,607,851	8.7
令和2	18,537,000	2,000,436	10.8
3	17,165,000	2,009,215	11.7
4	17,400,000	1,590,546	9.1
5	18,157,000	1,610,243	8.9
6	19,387,000	1,793,999	9.3

Ⅲ 学校教育

1. 学校施設一覧

1 小学校

区 分	建物 (㎡)					校地 (㎡)
	非木造	木造	計			
				校舎	屋内運動場	
学校名						
岩 沼 小 学 校	7,084.96	0	7,084.96	199.00	1,300.00	21,238.59
玉 浦 小 学 校	5,008.94	39.31	5,048.25	131.00	1,281.32	21,383.00
岩 沼 西 小 学 校	8,907.92	1.70	8,909.62	217.80	969.23	26,073.64
岩 沼 南 小 学 校	7,088.74	0	7,088.74	186.00	1,200.00	22,587.89
計	28,090.56	41.01	28,131.57	733.80	4,750.55	91,283.12

2 中学校

区 分	建物（㎡）					校地（㎡）
	非木造	木造	計			
				校舎	屋内運動場	
学校名				給食棟・室		
岩 沼 中 学 校	8,539.76	19.44	8,559.20	258.00	1,774.00	28,053.45
玉 浦 中 学 校	6,834.86	19.44	6,854.30	534.00	1,744.17	28,815.94
岩 沼 北 中 学 校	5,065.08	1,037.66	6,102.74	299.20	1,017.51	25,966.96
岩 沼 西 中 学 校	7,502.93	0	7,502.93	299.40	1,215.00	33,166.10
計	27,942.63	1,076.54	29,019.17	1,390.60	5,750.68	116,002.45

2. 児童・生徒数の推移

1 小学校

(令和6年5月1日現在)

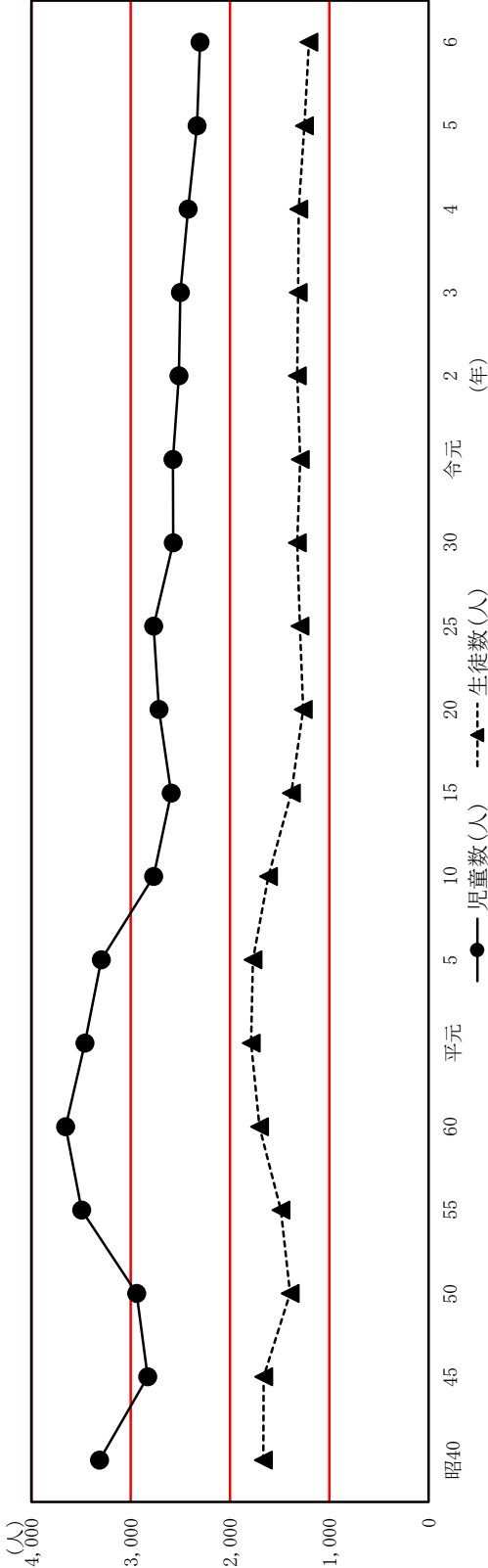
年度	昭40	45	50	55	60	平元	5	10	15	20	25	30	令元	2	3	4	5	6
学校数	(5) 8	(4) 7	(3) 6	(2) 6	(2) 6	(2) 6	(2) 6	(2) 6	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4) 4
学級数	(4) 91	(5) 84	(7) 89	(8) 99	(7) 105	(8) 106	(8) 105	(8) 90	(13) 91	(10) 91	(14) 96	(16) 93	(17) 95	(16) 90	(16) 92	(17) 91	(17) 89	(19) 91
児童数(人)	3,316	2,829	2,940	3,494	3,655	3,460	3,298	2,771	2,592	2,717	2,770	2,571	2,576	2,516	2,501	2,423	2,331	2,302

2 中学校

(令和6年5月1日現在)

学校数	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
学級数	(2) 48	(4) 46	(2) 37	(1) 40	(2) 45	(4) 51	(4) 55	(5) 52	(7) 47	(7) 46	(8) 48	(12) 53	(9) 48	(10) 51	(11) 53	(12) 50	(9) 45	(11) 47
生徒数(人)	1,664	1,661	1,394	1,488	1,705	1,788	1,770	1,613	1,383	1,264	1,296	1,324	1,292	1,324	1,315	1,308	1,250	1,205

※ () は、分校数及び特別支援学級数を内書



3. 学校別児童・生徒数

1 小学校

(令和6年5月1日現在 上段：学級数、下段：児童数)

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
岩沼小学校	3 83	3 79	2 69	3 98	3 71	3 90	4 16	21 506
玉浦小学校	2 57	2 61	2 66	3 76	2 55	3 80	4 15	17 410
岩沼西小学校	4 132	4 121	5 145	4 136	5 170	5 161	6 28	33 893
岩沼南小学校	2 65	2 70	2 60	3 84	3 93	3 100	5 21	20 493
計	11 337	11 331	11 340	13 394	13 389	13 431	19 80	91 2,302

2 中学校

(令和6年5月1日現在 上段：学級数、下段：生徒数)

学校名	1年	2年	3年	特別支援	計
岩沼中学校	3 94	3 104	3 103	2 7	11 308
玉浦中学校	2 62	2 59	2 61	3 7	9 216
岩沼北中学校	2 62	2 59	2 61	3 12	9 194
岩沼西中学校	5 146	5 161	5 167	3 13	18 487
計	12 361	12 395	12 410	11 39	47 1,205

4. 私立幼稚園児数

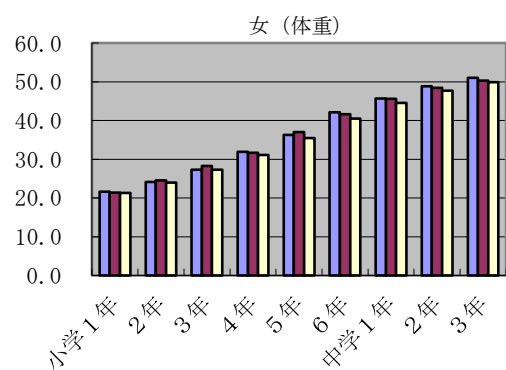
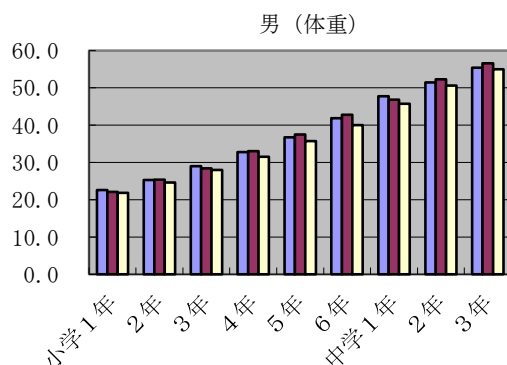
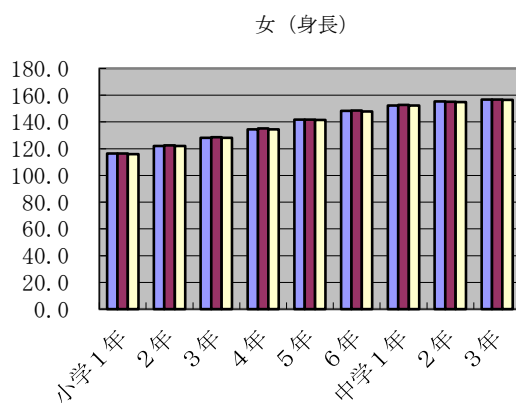
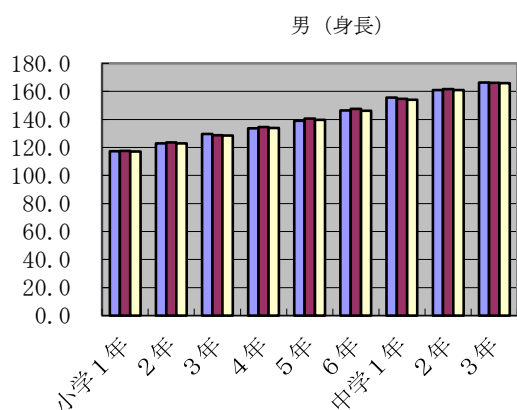
(令和6年5月1日現在 単位：人)

園名	3歳児	4歳児	5歳児	計
岩沼さくら幼稚園	44	56	54	154
岩沼こばと幼稚園	28	31	46	105
岩沼南こばと幼稚園	59	52	69	180
計	131	139	169	439

5. 児童・生徒の体位状況

性別		男					女				
区分		岩沼市			宮城県	全国	岩沼市			宮城県	全国
年度		H20	H25	R5	R4	R4	H20	H25	R5	R4	R4
身長 (cm)	小学1年	116.9	116.6	117.3	117.6	117.0	116.1	115.9	116.3	116.3	116.0
	2年	123.0	123.0	123.0	123.6	122.9	121.7	121.9	122.1	122.5	122.0
	3年	128.5	128.1	129.5	128.7	128.5	127.1	128.2	128.2	128.5	128.1
	4年	133.9	134.5	133.7	134.5	133.9	133.9	134.2	134.5	135.1	134.5
	5年	139.7	139.1	139.0	140.5	139.7	140.3	140.4	141.7	141.8	141.4
	6年	145.7	145.1	146.3	147.5	146.1	147.2	146.8	148.3	148.5	147.9
	中学1年	153.6	153.2	155.5	154.7	154.0	151.7	152.0	152.2	152.7	152.2
	2年	160.2	160.3	161.0	161.6	160.9	155.3	154.8	155.3	155.1	154.9
	3年	166.6	165.4	166.3	166.2	165.8	157.6	155.8	156.8	156.8	156.5
体重 (kg)	小学1年	22.0	21.5	22.6	22.1	21.8	21.4	21.1	21.6	21.4	21.3
	2年	24.7	24.6	25.3	25.4	24.6	23.8	23.7	24.1	24.5	24.0
	3年	28.0	27.3	29.0	28.4	28.0	26.8	27.2	27.3	28.3	27.3
	4年	31.3	32.3	32.8	33.0	31.5	30.7	30.8	31.9	31.7	31.1
	5年	36.1	34.8	36.7	37.5	35.7	34.3	34.8	36.3	37.0	35.5
	6年	40.0	39.7	41.9	42.8	40.0	40.4	39.9	42.1	41.6	40.5
	中学1年	45.4	45.1	47.8	46.8	45.7	45.2	44.3	45.7	45.6	44.5
	2年	49.9	50.7	51.5	52.3	50.6	48.4	47.4	48.8	48.4	47.7
	3年	56.8	55.4	55.4	56.6	55.0	51.5	50.5	51.0	50.3	49.9

宮城県平均値：令和4年度文部科学省学校保健統計値
 全国平均値：令和4年度文部科学省学校保健統計値



■岩沼市令和5年 ■宮城県令和4年
 □全国令和4年

6. 学校紹介

岩沼小学校



郵便番号	989-2432	創 立 日	明治 6 年 6 月 26 日
住 所	岩沼市中央二丁目 1 番 1 号	開校記念日	6 月 26 日
電話番号	0223-22-2145	校 木	プラタナス
FAX番号	0223-22-2146	校 長	樋川 研吾
メ ー ル	chief1@iwasho.iwanuma-ed.jp		
ホームページ	http://www.iwasho.iwanuma-ed.jp	【児童数 506 人 学級数 21】	

校訓 「正直」「親切」「勤勉」（明治 37 年制定）

教育目標 共に学び合う、心豊かで心身共に健康な児童の育成

【目指す児童像】

- 「ふ」ふかく考え、工夫する子（知）
- 「た」なかよくたすけ合う子（徳）
- 「き」心と体をきたえる子（体）

【目指す学校像】

- ・ 創意と活力に満ちたしなやかで（柔軟で）たくましい（創造的な）学校
- ・ 一人一人の児童を大切にする格好
- ・ 歴史と伝統を大切にし、地域と共に歩む学校。

【目指す教職員像】

- ・ 支え合い、学び合い、高め合う教職員
- ・ いつでも子どものそばにいる教職員
- ・ 資質向上に向けて努力する教職員

【努力事項】

- ・ 意欲が湧き、分かりやすい授業づくり
- ・ 信頼と共感による人間関係づくり
- ・ 心身の健康と生活習慣づくり

努力事項の具体的取組

1 意欲が湧き、わかりやすい授業づくり

「個別最適な学びと協働的な学び」の一体化を目指す指導方法の工夫に取り組む。また、児童自身で主体的に学ぼうとする意欲を高めるような授業づくりを行う。

(1) 質の高い授業の追求<Teaching + Coaching>

- ① 自ら「考え 判断 決定」させる場面設定
- ② 方法選択型探求学習【IndiviFLIS】の実践
- ③ 自由選択型「岩小ホームスタディ」の実施
- ④ 基礎学力の定着と試行を深める授業の実践
- ⑤ 発達段階に応じた適切な学習指導

(2) ICT教育「まなびi岩小スタイル」の充実

2 信頼と教官による人間関係づくりの推進

岩沼市教育基本方針「たくましさと優しさを培う学校づくり」を推進し、調和とバランスの取れた教育課程の適切な編成と実施に取り組み、開かれた学校づくりに努め、学校教育目標の具現化を図る。

(1) 自己肯定感・自己存在感の醸成

- ① 互いに認め、励まし合う学年・学級経営
- ② 自然な挨拶と温かい言葉遣い
- ③ 教師による「居場所づくり」と児童による「絆づくり」の推進
- ④ 人権教育・福祉教育の推進

(2) 落ち着きのある環境づくり

3 心身の健康と生活習慣づくりの指導の充実

児童理解を深め、道徳教育や特別活動、生徒指導、学校教育活動全体を通して、心豊かで心身共に健康な生活ができる力を育成する指導の充実に努める。

(1) 基本的生活習慣の定着と体力づくり

- ① 早寝、早起き、朝ご飯の推奨と生活リズムの確立
- ② 子に応じた家庭学習の習慣づくり
- ③ 登下校時や校内外での安全教育、防災教育の日常的な取り組み
- ④ 体づくりと外遊びの推進

(2) 食育の推進

学校運営に当たって

- 1 児童自身が考え、主体的に取り組む教育活動を推進する。
- 2 本校オリジナル【IndiviFLIS】を単元内に効果的に設定する。
- 3 業務の効率化に向けた ICT の活用を通し、職員のワークライフバランスを図る
- 4 特別な支援を必要とする児童への細やかな対応、適切な情報発信、家庭や地域との連携を大切にす。

玉浦小学校



郵便番号	989-2424	創 立 日	明治 6 年 6 月
住 所	岩沼市早股字小林 396 番地の 1	開校記念日	5 月 30 日
電話番号	0223-22-2702	校 木	くろまつ・はまぎく
FAX番号	0223-22-2759	校 長	加藤 かほる
メ ー ル	chief2@tamasho.iwanuma-ed.jp		
ホームページ	http://www.tamasho.iwanuma-ed.jp		【児童数 410 人 学級数 17】

教育目標 自ら考え共に学び 豊かな心を持ち
健康でたくましく生きる たまうらの子の育成

【目指す児童像】

- (知) 自ら考え共に学ぶ子供
 - よく聴き、自分の考えを持って交流し、深め合う子供
 - 進んで学習に取り組み、最後までしっかりと学ぶ子供
- (徳) 豊かな心を持った子供
 - 思いやりがあり、優しさと責任感のある子供
 - あいさつ、返事がしっかりできる子供
- (体) 健康でたくましく生きる子供
 - 元気に遊び、進んで身体を鍛え、目標に向かって粘り強く努力する子供
 - 早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に着け、健康な生活を送る子供

目指す学校像

- (1) 楽しい学校
 - ・一人一人を大切にし、個々の良さを認め、元気に遊び、しっかり学ぶことができる魅力ある学校
- (2) 共に歩む学校
 - ・家庭や地域と連携し、玉浦に根ざした取組を協働で歩む、信頼される学校
- (3) 安全安心な学校
 - ・災害安全・交通安全・生活安全を確保し、清潔感のある、落ち着いた学校

目指す教師像

- (1) 信頼される教師
 - ・心豊かで優しさと厳しさ、使命感を持ち、児童に共感的に接し、平等で確かな児童理解ができる教師
- (2) 授業で鍛える教師
 - ・授業を大切にし、楽しく分かる授業、子供を鍛える授業ができる教師
- (3) 伸びる教師
 - ・広く研修に努め、磨き合いながら、協働、協力し、高め合うことのできる教師

教育活動の重点努力事項 3つの柱 具体策

- (1) 「学ぶ楽しさ」「分かった」「できた」を実感させる授業づくり
 - ・ねらい・自力解決・交流・深め合い・振り返りのある授業
 - ・TT指導、個別指導を取り入れた授業
 - ・ICTを活用した授業（提示・交流・調べ・まとめ・習熟等での活用）
 - ・スキルタイムでの計算力の向上
- (2) 学習規律・学習習慣の確立
 - ・「玉小スタンダード」「家庭学習の手引き」の活用による共通理解行動
- (3) 基礎的な学力の定着と活用する力の育成
 - ・基礎的な学力の確実な定着
 - ・学んだことを活用して自ら考える力の育成
- (4) 思考力・判断力・表現力の育成
 - ・「主体的・対話的・深い学び」の授業改善
 - ・「読む力」「書く力」「話す力」「聴く力」の育成
- (5) 「子供の学びを支援する5つの提言」の実践
 - ・子供の声を受け止め適切な支援をすることで安全・安心に学べる環境をつくる
 - ・子供をほめること、認めることで、やり抜く力を育てる
 - ・子供が様々な学び方を知り、主体的に学習ができるように支援することで、学びに向かう力を育てる
 - ・自分の考えを発表したり交流したりする活動を充実させることで深い学びにつなげる
 - ・家庭学習の質的向上を図るとともに読書の時間を増やす働き掛けをする

「豊かな心を持った子供〈やさしく〉」の育成のために 「徳育」

- ①自分の居場所、一人一役、活躍する場面がある学級作り
 - ・安心して過ごすことができる学級作り
 - ・友達のことを考え、思いやりを持った行動ができる学級作り
 - ・朝や帰りの会、係り活動、授業の場面等で活躍する場面作り
 - ・意図的な集団遊びを通した人間関係作り（学級・縦割り活動等）
- ②「あいさつ」「返事」ができ、礼儀正しい行動がとれる子供の育成
 - ・「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」などの挨拶や「お辞儀」ができるように年間を通した指導
- ③道徳的实践力を育てる道徳教育の充実
 - ・考える討論する道徳の授業づくり
 - ・他教科や学級活動と関連させ、横断的で全教育活動を通した道徳教育の実践化
- ④いじめ不登校の未然防止・早期発見・早期対応
 - ・児童理解、報告・相談・連絡の徹底、ケース会議等の組織的対応
 - ・定期的なアンケートの実施、日常の観察等での早期発見
- ⑤地域に根差した教育活動との連携
 - ・ふれあいパトロール隊、地域ボランティア、地域の企業、玉浦コミュニティーセンター、派出所、玉浦中学校等との連携した教育活動の推進

「健康でたくましく生きる子供〈たくましく〉」の育成のために「体育」

①教科体育の充実、朝の活動・業間外遊びの奨励、体育委員会の行事

- ・基礎体力、基礎技能の習熟、朝の活動、業間遊びを通して体力の向上を目指す
- ・体育委員会等の児童の主体的な活動や強化月間などを有効活用する

②防災・安全教育を通して「自分の命は自分で守る」力の定着

- ・多様な避難訓練の実施、毎月15日の「防災の日」を中心として、「みやぎ防災教育副読本」を活用した学習を行い「自分の命は自分で守る」力を育成する

③目標を設定し、励ましを行い、最後までがんばる気持ちを育てる

- ・体力作りの内容で目標を立て、達成に近づけることができるよう励ます
- ・運動会、水泳学習、持久走記録会、なわとび運動等での取組で実践させる

④「早寝」「早起き」「朝ごはん」の習慣が定着するように呼びかける

- ・学校便り、学年だより等で保護者に啓発するとともに、アンケート調査を実施
- ・朝の会での確認、帰りの会での呼びかけを行う

⑤食育の充実

- ・家庭・地域との連携、啓発
- ・学校給食の充実

令和6年度の学校経営方針スローガン

明日も来なくなる学校を目指して ～子供・教職員が主役の楽しい学校～

- 〈5つのあ〉
- 1 あかるいあいさつたまうらの子（挨拶、返事、礼儀）
 - 2 あたたかな心のたまうらの子（相手へのおもいやり、ふわふわ言葉）
 - 3 あきらめないたまうらの子（チャレンジ精神、失敗から学ぶ）
 - 4 あたりまえを大切にするたまうらの子
 - 5 あそび大好きたまうらの子（体を鍛える、コミュニケーション能力）

岩沼西小学校



郵便番号	989-2456	創 立 日	昭和 52 年 4 月 1 日
住 所	岩沼市松ヶ丘一丁目 17 番地	開校記念日	5 月 1 日
電話番号	0223-24-3780	校 木	くろまつ（昭和 56 年制定）
FAX番号	0223-24-3790	校 長	森 伴久
メー ル	chief3@iwanishisho.iwanuma-ed.jp		
ホームページ	http://www.iwanishisho.iwanuma-ed.jp	【児童数 893 人 学級数 33】	

校是 「真」 まじめでいつわりのないこと
「愛」 やさしく思いやりがあること
「勇」 正しいことを行う勇気があること

基本理念

- 人間尊重の精神を中核に据え、地域の実情と児童の実態に即した、一人一人を大切にする教育の充実に努める。
- 「落ち着いた学校づくり」を学校教育の基盤と捉え、自らを律し、自立していける児童の育成を目指す。
- 安全・安心な環境で、一人一人の児童の長所を伸ばし、挨拶と感謝の心が通い合う笑顔のあふれる学校にする。

方針と視点

法令、宮城県教育委員会並びに仙台教育事務所、岩沼市教育委員会の方針に基づき、地域社会と児童の実態を踏まえ、学校教育目標を定める。

我々教職員は、教育愛と揺るぎない信念の下、英知を結集し、日々の教育活動の充実に努めていかなければならない。そして、教育は「人づくり」であることを深く認識し、学ぶ意欲に支えられた確かな学力と豊かな心を備え、夢や志を持って時代をたくましく生き抜いていける児童の育成のため、持てる力を十分に発揮し合い、その職責を果たすことが求められている。

これらを踏まえ、校是「真・愛・勇」の精神の下、次の4点から学校経営を進めていく。

- ① 教職員一人一人が教育のプロとしての自覚と責任を持ち、常に自己研鑽に努め、協働して職務に当たる中で、指導力を磨き合う教師集団を創造する。
- ② 丁寧かつ活力ある教育活動を展開する中で、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、児童一人一人の心を育む教育、個性を生かす教育に努める。
- ③ 支持的風土の学級づくりを基盤に、児童一人一人の自己肯定感・自己有用感を高め、多様な人々と協働することができる心豊かな児童の育成に努める。
- ④ 家庭・地域と学校が一丸となって協働教育に取り組み、地域に根ざした教育を推進し、地域に開かれた学校、安全・安心な信頼される学校づくりに努める。

学校教育目標

- 全ての教育活動を支える理念
「全ては子供たちのために」
- 学校教育目標
学ぶ意欲と豊かな心をもち、心身共に健康でたくましい児童の育成
- 目指す児童像
思いやりのある児童 ・ 進んで学習する児童 ・ 体をきたえる児童

教育活動の重点事項「五つの柱」

保護者や地域との連携を図りながら、学校の基礎・基本とも言える「授業」と「学級づくり」を中核に据えて、確かな学力、豊かな人間性、健やかな体といった知・徳・体の調和のとれた児童の育成に努める。

- 1 確かな学力の定着と学ぶ意欲の向上
 - (1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な推進
 - 問題解決型の授業の構造的見直し
 - 自由進度学習（児童が主体的に学べる多様な学び）の導入
 - (2) 学ぶ楽しさを実感できる授業づくり
 - ICT機器を活用した深い学びにつながる授業づくり
 - 専科・交換授業等による教師の専門性を生かした質のある授業
 - (3) 教師の指導力の向上
 - 教師同士が率直に語り合える校内研究
 - 指導と評価の一体化
 - (4) 学習規律・学習習慣の確立
 - 「西小スタンダード」、「家庭学習の手引き」の活用による共通理解・共通行動
- 2 豊かな心の育成と夢や希望を持たせる活動の充実
 - (1) 出番と居場所のある学級づくり
 - 児童の居場所作り
 - 仲間意識を育て児童の声を聴き認め合う学級活動
 - 「立ち止まって」挨拶の励行
 - (2) 道徳教育の充実
 - 考え討議する道徳の授業実践
 - 命を大切にし、感謝の気持ちを育てる道徳教育
 - (3) 成就感、自己有用感、志等を高める体験活動の充実
 - 出前授業や体験活動の積極的な取組
 - 生き方を学ぶ機会の積極的な設定
 - (4) 読書活動の充実
 - 家庭読書の推進
 - 学校図書館の積極的活用
 - 読み聞かせボランティアとの連携
- 3 健やかな心身と体力づくりの充実
 - (1) いじめ・不登校等の未然防止及び早期発見・早期対応
 - 児童理解と報・連・相の徹底
 - 教育相談体制の充実と組織での対応

- (2) 基礎体力と運動技能の向上
 - 教科体育の充実
 - 業間外遊びの奨励
 - 各種運動強化週間の有効活用
- (3) 安全・健康教育の推進
 - 安全教育の指導法の工夫・改善
 - 養護教諭・栄養教諭との連携
- (4) 安全な環境づくりと危機管理意識の高揚
 - 安全防災研修の充実
 - 緊張感を持った安全点検（定期・臨時・日常）の実施と迅速な対応
- 4 特別支援教育の理解と充実
 - (1) 機能する校内支援体制の構築
 - 情報の共有
 - ケース会議の充実
 - 関係機関及びＳＣ、ＳＳＷ等との連携
 - (2) 教職員の特別支援教育への理解促進
 - 気になる児童の理解と対応力の向上
 - 保護者との連携（情報交換と具体的なニーズの把握）
 - (3) 障がいやニーズに即した指導法の工夫と支援の充実
 - 児童一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育課程の編成と指導
 - 通常学級における授業のＵＤ化
 - (4) 通常学級と特別支援学級との交流の推進
 - 内容や方法の工夫と共有
 - 組織的・計画的実践
- 5 信頼され魅力ある学校づくりの推進
 - (1) 家庭、地域との双方向の情報交換
 - 広報活動（各種たより発行、ホームページの更新、メール配信等）の充実
 - 個人面談や懇談会等の充実
 - (2) 落ち着きと潤いのある環境整備
 - 無言清掃の徹底
 - 整理整頓
 - 季節感や感動のある掲示の工夫
 - (3) 学校評価の充実と学校経営への反映
 - ３者（教職員・保護者・児童）アンケートの実施・分析
 - 学校評議員会・関係者評価委員会の充実
 - (4) 家庭、地域と連携した教育活動の推進
 - 保護者や地域住民の声を反映させた教育活動の充実
 - 学習支援ボランティア「西っ子応援団」の積極的な活用

岩沼南小学校



郵便番号	989-2445	創 立 日	昭和 54 年 4 月 1 日
住 所	岩沼市桑原四丁目 4 番 1 号	開校記念日	5 月 30 日
電話番号	0223-24-4115	校 木	いちょう・さつき
FAX番号	0223-24-4126	校 長	柴田 新二
メ ー ル	chief4@iwaminamisho.iwanuma-ed.jp		
ホームページ	http://www.iwaminamisho.iwanuma-ed.jp 【児童数 493 人 学級数 20】		

校訓 知「むつまじく」体「たくましく」徳「ほがらかに」

教育目標 いきいきと実践する笑顔あふれる児童の育成

【目指す児童像】

- 進んで学ぶ子ども 「むつまじく」
- たくましい子ども 「たくましく」
- 思いやりのある子ども 「ほがらかに」

【目指す学校像】

- 安心・安全で児童が生き生きと学ぶ学校
- 一人一人を大切にし、心が通い合い、居心地がいい学校
- 皆から信頼され、家庭・地域と共に歩む学校

【目指す教職員像】

- 児童に共感的に接し、確かな児童理解と的確な指導ができる教職員
- 分かる授業、楽しい授業、子どもを鍛える授業ができる教職員
- 専門職としての自覚と使命感を持ち、協働、協力し、高め合うことができる教職員

学校経営の重点事項

令和の日本型学校教育の推進 ICT 機器を最大限活用「個別最適な学び」「協働的な学び」を目指して

(1) 学力向上に関わる教育指導の推進

① 「主体的、対話的で深い学び」のある授業・分かる授業の追求（学力向上に向けた5つの提言）

- ・自力解決、対話活動、振り返りのある分かる授業づくりの工夫・改善に努める。
- ・全員が参加し一人一人が活躍する学びのある授業を目指す。
- ・各教科において言語活動を意識し、「読む」「書く」「話す」「聞く」力の向上を図る。
- ・分からない児童をそのままにしない、全員が分かるようにさせる。

② ICT を最大限活用した授業・習熟の学習

- ・各教科の特性を考え「個別最適な学び」「協働的な学び」を推進する。
- ・i タブを使った効果的な授業、自由進度学習、習熟度学習、プレゼンテーション力の定着を図る。
- ・リーディング DX スクールを推進する。

③ 学習規律・学習習慣の形成

- ・「南小スタンダード」を徹底し、学習効果の効率化を図る。
- ・家庭での選択学習、自律学習を推進する。

④ 校内研修、校内共同研究の充実

- ・全員授業を中心にした共同研究を模擬授業等を取り入れながら授業づくりを推進する。
- ・OJT 研修、初任者研修等を活用し、同僚性の向上を図る。

⑤ 読書活動の推進と充実

- ・朝読書で集中力、読書力を向上させる。
- ・読み聞かせボランティアと協働して読書活動を推進し、児童の視野を広げる。
- ・一人100冊運動を推進する。

⑥ 専科制の授業・交換授業

- ・外国語科、理科、算数科の専科による授業を推進し、中1ギャップの軽減を図る。
- ・学年間での交流、交換授業を導入し、学年間で各教科を分担するなど得意分野を生かし、指導の効果を上げる。

(2) 体力向上・健康安全に関わる教育指導の推進

① 体育科授業の充実

- ・運動量を確保するため授業内容の工夫をする。
- ・教科体育による教材・教具・場の設定の工夫をする。
- ・委員会の行事や取組みでの計画・実践を行い、体力向上を目指す。

② 年間を通しての外遊びの推進

- ・朝の学級の時間、業間、昼休みの時間での取組を推進する。
- ・外遊びの環境整備を行う。（遊びたくなる環境づくり）ドッジボールコート、なわとび台、固定遊具でのサーキットコース、竹馬、一輪車、鬼ごっこ etc

③ 保健指導の充実

- ・保健教育の推進、感染症予防の徹底を図る。
- ・歯の健康啓発、全国小学生歯磨き大会へ参加する。

④ 「早寝・早起き・朝ご飯」運動の推進と食育教育の充実

- ・家庭への啓発と協力、アレルギー対応の調査を行い、事故防止に努める。
- ・栄養士と連携した食に関する指導の充実を図る。

⑤ 学校安全の充実・東日本大震災の教訓を語り継ぐ

- ・交通安全、生活安全、災害安全の充実を図る。
- ・安全点検（定期・臨時・日常）の実施を行う。
- ・毎月11日を「防災の日」として設定し、防災学習に取り組む。
- ・想定外を想定した多様な避難訓練の充実を図る。

(3) 豊かな心を培う教育活動の推進

① 児童理解を大切にしたい、学級・学年経営の充実

- ・誰ひとり取り残さない教育を目指す。
- ・ペア学習、グループ学習、係活動、学級遊びを基盤とした学級作り（人間関係作り）を行う。
- ・異学年交流、縦割り活動での取組を推進する。
- ・QU 調査を活用した児童理解、学級経営を行う。（調査結果を基にした取組、満足させるしかけ）

② 自己肯定感・自己存在の醸成

- ・一人一人の活躍の場を意図的に設定、認め合い、励まし合い、自己肯定感・有用感を持たせる。
- ・認め合い・励まし合う集団づくりに努める。

③ 生徒指導・教育相談の充実

- ・いじめ、不登校、その他の問題行動には、校内の綿密な連絡と連携による組織的、迅速な対応を行う。
- ・毎日の健康観察、毎月のアンケートを実施し、悩み事等の相談対応を随時行う。
- ・積極的な生徒指導を推進する。（生徒指導3機能、体験活動、ボランティア活動、自主的活動）

④ 基本的な集団生活習慣の形成

- ・あいさつ、返事、学習習慣、生活習慣の徹底を図る。
- ・落ち着きのある環境づくりに努める。

⑤ 特別支援教育の推進

- ・特別な支援を必要とする児童の教育的ニーズに応じた指導法や合理的配慮で指導の効果を高める。
- ・障害を理由とする差別をなくし、すべての子供たちが共に学ぶ環境作りを推進する。
- ・校内特別支援委員会の充実と一人一人に応じた支援体制の構築を図る。

⑥ 道徳教育の充実

- ・自らの考えを深め、考え議論する道徳科の授業づくりに努める。
- ・教育活動全体を通じた道徳教育を推進する。

⑦ 志教育の充実

- ・児童が自らの将来や生き方を考えさせ、夢やあこがれを育む教育活動を推進する。
- ・キャリアパスポートの効果的な活用を図る。

(4) 信頼される学校づくりの推進

① 保護者・地域に開かれた学校

- ・教育活動の公開、個人面談、授業参観・学年・学級懇談・PTA活動の充実を図る。
- ・保護者や地域住民が訪問しやすい雰囲気づくりに努める。
- ・外部学校評価を推進し、学校経営に生かす。

② 体験活動の充実

- ・地域の素材を生かし連携した学習の展開を行う。
- ・本物に触れる体験学習の設定を行う。
- ・地域人材、外部講師、ボランティアの積極的な活用を図る。

③ 積極的な情報発信・収集

- ・学校だより、学年だより等のデジタル配信、メール配信、ホームページ等による広報の充実を図る。
- ・自己評価、児童、保護者評価の分析を生かし、学校運営改善に生かす。

④ 関係機関との連携の強化

- ・幼保小連携、小中連携、学校間交流の充実を図る。
- ・ケース会、問題行動、虐待、不登校などの対応に関係機関と連携し、対応にあたる。

⑤ 安心安全な学校づくり

- ・ふれあいパトロール隊、関係機関・団体、PTAとの連携・連絡強化する。(メール配信)
- ・PTA安全の日、通学路点検、街頭指導の実施の充実を図る。

岩沼中学校



郵便番号	989-2445	創立日	昭和 22 年 4 月 1 日
住 所	岩沼市桑原四丁目 8 番 1 号	開校記念日	4 月 19 日
電話番号	0223-22-2814	校 木	くろまつ (昭和 52 年制定)
FAX番号	0223-22-2995	校 長	池田 尚人
メー ル	chief5@iwachu.iwanuma-ed.jp		
ホームページ	http://www.iwachu.iwanuma-ed.jp	【生徒数 308 人 学級数 11】	

校訓 「自立」 「友愛」

教育目標 友愛の精神を身に付け 自立した生き方のできる生徒の育成

【目指す生徒像】

- 調和のとれた心豊かな生徒
- 自ら学び、自ら考える生徒
- 柔軟で創造的で広い視野を持つ生徒

1 目指す学校像

「学校の果たす役割を理解し、学校でしか経験できない活動の積み重ねを大切にする学校」

～つながりとかかわりを大切にした学校づくり～

2 教育活動を展開する上での基本姿勢と重点

- (1) 愛情をもって接し、成長を後押しすることに真摯にあたり豊かな人間性を培う
支持的生徒指導の推進 ともに学び合う学習集団づくり
- (2) 意欲が湧き、分かりやすい授業づくりに努め指導力向上・学力向上を目指す
一人一授業公開の実践と校内研究の充実
I C Tの効果的活用と「個別最適な学び」「協働的な学び」の創造
- (3) 多様な見方・考え方を理解し、人権感覚を大切にした心の教育の充実に努める
朝読書の実施 道徳の充実 体験活動の充実
- (4) 落ち着いた美しい環境づくりに努める
安全・安心な学習環境づくり 自学自習の推進
- (5) 居場所をつくり、絆を深める取り組みを大切にする
個に応じた適切な支援の充実 協働で取り組む特別活動の工夫と充実

3 学校運営に当たって

- (1) 創意工夫、柔軟な対応による教育活動の展開 行事等の工夫
- (2) I C Tの効果的活用・スクールD Xの推進 ポータル・クラウドの活用
- (3) 適切な情報発信と地域や家庭との連携 ホームページ、たより・メールの活用

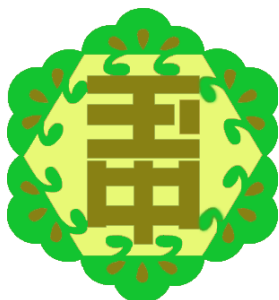
(4) 報告・連絡・相談・調整と確認の徹底

情報の共有と共通理解・共通行動

(5) 業務の効率化と働き方改革の推進

業務の見直しや精選 部活動改革

玉浦中学校



郵便番号	989-2429	創 立 日	昭和 22 年 4 月 18 日
住 所	岩沼市恵み野二丁目 4 番地の 1	開校記念日	4 月 18 日
電話番号	0223-22-2704	校 木	くろまつ・はまなす
FAX番号	0223-22-2905	校 長	佐藤 秋生
メー ル	chief6@tamachu.iwanuma-ed.jp		
ホームページ	http://www.tamachu.iwanuma-ed.jp	【生徒数 216 人 学級数 9】	

教育目標 心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた

心豊かにたくましく生きる生徒の育成

【目指す生徒像】 ～ 知・徳・体の調和 ～

① ねらいをもって学習する生徒 【知】

- ア 課題をもって、進んで学習に取り組むことができる。
- イ 自ら考え、発表することができる。
- ウ 学習の必要性を理解し、計画的に学習することができる。

② 思いやりをもつ生徒 【徳】

- ア 他者の気持ちを考え、やさしさを行動で示すことができる。
- イ 自分で判断し、行動したことに責任をもつことができる。
- ウ 自然や郷土を愛し、美しいものに感動することができる。

③ 心身を鍛える生徒 【体】

- ア 困難に立ち向かい、粘り強くやり抜くことができる。
- イ 進んで体力づくりに取り組むことができる。
- ウ 他のために働くことに喜びを見いだすことができる。

【目指す学校像】 ～ あいさつ ・ きれい ・ 感動と笑顔 ～

① あいさつの飛び交う学校

- ア 自ら進んで、あいさつをすることができる。
- イ 誰に対しても、分け隔てなくあいさつをすることができる。
- ウ あいさつの効能を感じ取り、周囲の人と共有しようとする。

② きれいな学校

- ア 自ら進んで、清掃活動に取り組むことができる。
- イ 自ら気付き、進んでゴミを拾うことができる。
- ウ きれいな学校を誇りに思い、周囲の人に自信を持って自慢できる。

③ 感動と笑顔があふれる学校

ア 皆と協力し合い、一生懸命に毎日の学校生活や行事に取り組むことができる。

イ 集団で成し遂げることの一体感に感動し、達成感や楽しさを感じ取ることができる。

ウ 集団の中で、自己有用感を感じ取ることができる。

学校経営の基本方針

(1) 全職員が参画する学校経営

職員の和を基盤とし、ベテラン層・若手層それぞれの各職員の経験・持ち味が尊重される協働体制のもと、チームで教育活動に取り組む。

- ① 専門職の自覚を持ち、校内外の職務研修により職務の遂行に必要な資質能力の向上に努める。
- ② 職員の英知を結集し、創造的な企画と協働的な実践に取り組むとともに、学年・学級、分掌間の連携を密に行う。
- ③ 安心・安全な教育環境の構築のため、施設設備の詳細な安全点検を日常的・恒常的に行うとともに、迅速な整備・補修を徹底する。
- ④ ベテラン層から若手層へのOJTをスムーズに行うことで、職員の資質能力の向上に努める。また、ICT等若手層の強みを生かす組織運営を行う。
- ⑤ 常に働き方改革を意識し、仕事内容の精選や簡素化を図る。
- ⑥ 職員間のコミュニケーションを密に行い、自浄作用のある風通しのよい職員室を構築する。

(2) 生きる力を育む学校経営

学習指導要領に示された資質・能力の育成を着実に進めるために、教育課程の適切な編成と確実な実施に努め、小規模校の特性を生かした教育活動を展開する。

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と創造的な思考力、学んだことを活用して自ら考える確かな学力の育成を図る。
- ② 「主体的・対話的で深い学び」の授業改善の取組を蓄積、結果を共有し、協働体制の確立を大切にしながらか校内研究を推進する。
- ③ ICTを最大限に活用し、これまで以上に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、分かる喜びが実感できる授業づくりを目指して授業改善を持続的・継続的に行う。
- ④ 道徳科の授業を充実させ、自他の個性や立場を尊重しようとする態度と何事にも諦めないたくましい心を育成する。

(3) 生徒指導の機能を生かした学校経営

自己存在感を与え、共感的な人間関係を育成し、自己決定の場を計画的・意図的に設定するとともに、生徒の可能性を育む指導と、相談活動の日常化に努める。

- ① 生徒活動（生徒会、学級、部活動）を推進し、自己有用感・自己満足感を与えながら、自浄作用を高める指導・支援を行う。
- ② 共感的な人間関係の育成を目指し、協力して成し遂げることの感動と素晴らしさを味わわせる教育活動を行う。
- ③ 多くの職員が、生徒一人一人とラポートを深め、多面的に生徒をとらえる環境をつくり、その情報を共有する。
- ④ いじめ防止及び命と人権を大切にする心を育成する。
- ⑤ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心のケア支援員やスクールサポーター、

家庭や関係機関等との連携・協力を図り、生徒一人一人に寄り添う相談活動を充実させる。

- ⑥ 多様な生徒達を誰一人取り残すことなく、きめ細やかな教育を推進する。

(4) 地域に根ざした学校経営

地域との相互理解をもとに生徒の指導にあたり、より開かれた学校の運営を行う。

- ① 保護者、小学校、保育園、地域社会、関係機関と共に、防災教育、キャリア教育、健康教育、食育、健全育成事業等の協働推進に努める。
- ② 学校評議員会、学校関係者評価委員会での協議結果をもとに、分掌部会や職員全体での話し合いを通して、次年度の学校の教育力の向上を図る。
- ③ 家庭への積極的な情報発信を通して、協働・連携の実感を共有しつつ、学校教育活動を推進していく。
- ④ 地域人材・教材（人、もの、こと）を積極的に活用する。
- ⑤ コロナ禍で得た経験を基に、保護者や地域社会との関わりを、見直し、安易に前年度踏襲とせず、教育効果の観点から不断の見直しを図っていく。

学校教育目標を達成するための今年度の重点施策

(1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用する力を培う。

- ① 進路は自分の問題であることに気づかせることで、学習の必要性を理解させ、学習意欲を喚起する。（動機付け）
- ② 学習の道筋とゴールが見えるねらいを明確にし、適応問題や感想などの振り返りまでを時間内で行うことで生徒に学びの実感と次の学習への意欲をもたせるようにする。
- ③ 発問の工夫とICT等の活用で思考と対話のある授業づくりに努める。
- ④ 単元や題材を通したまとまりの中で、学習の見通しを持たせ、その学習を振り返る場面を適切に設定し、主体的に学習に取り組む態度を養う。
- ⑤ 学び塾の活用、家庭学習の手引きや教科の振り返りシート等の活用とタブレットドリル等で学習習慣の確立を図る。
- ⑥ 小中職員間での授業参観や情報交換などをおし、生徒実態を踏まえた指導や小学校での指導の上に積み上げる指導を行う。
- ⑦ 不登校・別室登校・感染症対応・長期入院等であっても、生徒の学ぶ機会を止めない。希望すれば、常時リモート授業を提供していく。

(2) 自他のよさに気づき、認め合う心を育てる。

- ① 生徒活動（行事、委員会、学級活動、部活動）の充実を図り、一人一人の良さを認め合わせ、自己有用感を高めることで、自己肯定感の醸成を図る。
- ② 不登校及びいじめの未然防止や早期発見・早期解決に向け、観察や声掛け、調査、面談、保護者との連絡などにより見立てを行い、SC等を含めた協働体制で対応する。また、小学校6年生に学校紹介や授業体験を行い、中学校生活への心構えを持たせる。
- ③ 他者との意見の違いを建設的に調整できるコミュニケーション能力を育てる。

(3) 健康で安全・安心な生活を実現するための実践力を養う。

- ① 防災教育を中心に、自分の命は自分で守るという意識を育てるとともに、地域で果たすべき役割を考え、地域の安全に貢献する心を育てる。
- ② 危機管理能力（知識及び判断力、行動力）を身に付けさせ、危険を回避する力と安全・安心な社会づくりに貢献する心を身に付けさせる。
- ③ 給食時間や各教科・領域の時間と関連を図りながら、食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせる。

- ④ 授業や部活動などを通し、運動に親しませるとともに、体力及び運動能力の向上を図る。
- ⑤ 情報モラル教育を通して、トラブルを防止し、自分の生活を自分で律する力を身に付けさせる。
- ⑥ 引き続き、感染症対策の基礎知識を身に付けさせ、安心・安全な日常生活や学校生活を送るための、自己管理能力を育てる。

(4) みやぎの志教育を推進する。

- ① 職業調べや職業人の話を聞く会を通して、職業の魅力や働きがいなどを感じさせる。
- ② 自己の特性を理解し、個性や可能性を生かそうとする意欲や態度を育てる。
- ③ 地域社会の一員として、社会に貢献しようとする意欲や態度を育てる。
- ④ 生涯にわたり「ふるさと玉浦」を愛し、大切に思う心を育む。
- ⑤ 生徒活動（行事、委員会、学級活動、部活動）において、上級生・下級生の縦の交流を活性化し、下級生の上級生に対する尊敬や憧れの念を醸成していく。

岩沼北中学校



郵便番号	989-2431	創 立 日	昭和 37 年 4 月 1 日
住 所	岩沼市相の原二丁目 3 番 1 号	開校記念日	5 月 6 日
電話番号	0223-22-2874	校 木	いちよう
F A X 番号	0223-22-2997	校 長	加茂 博行
メ ー ル	chief7@iwakitachu.iwanuma-ed.jp		
ホームページ	http://www.iwakitachu.iwanuma-ed.jp	【生徒数 194 人 学級数 9】	

校訓 「自主」「親愛」「健康」「奉仕」

教育目標 心豊かに たくましく 主体的に生きる人間の育成

目指す生徒像 「磨き合い、高め合う生徒」

【自主】自ら考え進んで実践する生徒

【親愛】思いやりのある生徒

【健康】心身ともに健康な生徒

【奉仕】社会に貢献できる生徒

目指す学校像 「花が咲き、笑顔があふれ、歌声が流れる学校」

① 学ぶ意欲にあふれる学校

② 安全できれいな学校

③ 挨拶の声があふれる温かな学校

④ 保護者、地域と信頼で結ばれた学校

目指す教師像 「生徒とともに歩み、心を耕す教師」

① 生徒一人一人の学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する教師

② 職責を自覚し、誠実・公正に職務を遂行する教師

③ 学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、生涯を通じて学び続ける教師

学校経営の方針

教育公務員としての職責を自覚し、心理的安全性と同僚性を高めながら、協力して教育目標の実現に努める。

- (1) 校務分掌や会議の工夫により、全職員の積極的な学校経営参画を図り、教育活動の質的向上を図る。
- (2) I C T等を活用し、校務を徹底的に効率化することで、生徒とふれあう時間を確保し、生徒に寄り添いながら心の教育を充実させる。
- (3) 校内研究を基盤に主体的・対話的で深い学びを支援し、生徒の学ぶ力の向上を図る。
- (4) P T Aや同窓会、地域との積極的な連携を図り、信頼関係を築きながら保護者や地域と一体となった学校づくりを推進する。

学校教育目標を達成するための重点施策

(1) 【自主】自ら学び進んで実践する生徒を育成するために

- ① 生徒が自立した学習者として、自らにあった学習の進め方を考えられるようにする支援の工夫【個別最適な学び】
- ② 自分の考えを发表或し、交流したりすることで、異なる考え方を組み合わせ、生徒の主体的な学びを豊かにする工夫【協働的な学び】
- ③ 生徒自身がＩＣＴを「文房具」として活用できる環境を整え、生徒の情報活用能力を伸ばす工夫【ＩＣＴの積極的活用】
- ④ 主体的に取り組みたくなる課題の設定や、ＩＣＴの効果的な活用により、家庭学習を質的に向上させる工夫【家庭学習の充実】
- ⑤ 生徒が読書に親しむ機会をつくり、生徒に読書習慣を身に付けさせる工夫【読書活動の推進】

(2) 【親愛】思いやりのある生徒を育成するために

- ① 花が咲き、互いに挨拶であふれる環境づくりの推進
- ② 不登校支援及びいじめの未然防止の取組の推進
- ③ よりよく生きるための基盤となる道徳性の涵養
- ④ 特別活動の充実による自信の醸成と自己有用感の高揚
- ⑤ 特別支援教育の理解と福祉教育活動の推進

(3) 【健康】心身ともに健康な生徒を育成するために

- ① 共通理解、共通行動による組織的な生徒指導の推進
- ② 食育活動の推進
- ③ 学級づくりを通じた、生徒間、生徒・教師間の良好な人間関係の醸成
- ④ 家庭生活習慣の改善を支援する取組みの推進

(4) 【奉仕】社会に貢献できる生徒を育成するために

- ① 進路指導の充実と志教育の推進
- ② アルカス活動やボランティア活動の推進
- ③ 地域の実態を踏まえた防災教育の推進
- ④ 保護者・地域の信頼に応える開かれた学校づくりの推進

岩沼西中学校



郵便番号	989-2464	創 立 日	昭和 61 年 4 月 1 日
住 所	岩沼市三色吉字竹 1 1 番地	開校記念日	1 月 31 日
電話番号	0223-24-3155	校 木	けやき（昭和 61 年制定）
FAX番号	0223-24-3156	校 長	渡邊 真由美
メ ー ル	chief8@iwanishichu.iwanuma-ed.jp		
ホームページ	http://www.iwanishichu.iwanuma-ed.jp	【生徒数 487 人 学級数 18】	

教育目標 自ら学び 心豊かに たくましく生きる生徒の育成

目指す生徒像 「知・徳・体の調和のとれた生徒」

- 進んで学習に取り組む生徒
- 困難に負けず心身を鍛えぬく生徒
- 思いやりを持ち協力する生徒

教育目標を達成するための重点施策

(1) 活力ある充実した教育活動を展開する教育課程編成の工夫（教務部）

- 行事等に関する評価・反省を適切（PDCA サイクル）に行い、柔軟な発想と工夫に満ちた教育活動を展開する。
- 縦断的・横断的な計画のもと、体験的活動を重視した総合的な学習の時間の充実を図る。
- ICT 担当部を新設し、校務や教育活動への利活用をさらに推進させ、効率的かつ効果的な教育活動を展開する。

(2) 生徒主体の授業実践（研究部）

- 個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図り、生徒主体の授業（自己調整学習）実践を図る。（指導計画への明記）
- 理論と実践を伴った校内研究の推進に加え、校外研修へ積極的に参加し、授業力向上を図る。
- 学習相談や通級等個別支援の充実の下、個々に応じた指導の実践に努め、学ぶ意欲の高揚を図る。

(3) 発達支持的生徒指導の推進（生徒指導部）

- 志教育の 3 視点を活かした教育実践を通し、集団における自己の役割やより良い生き方を主体的に求める態度を育成する。
- 生徒一人ひとりの可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えるための望ましい支援の仕方を追求する。
- 学び支援教室や SC、SSW、あいう一む等の関係機関と連携しながら生徒の居場所づくりの充実を図る。

(4) 主体性、自主性を高める生徒会行事・委員会活動の充実（特別活動部）

- 生徒会活動の活性化を図り、自主的・自発的な活動を促しながら所属感を与え、帰属意識を高める指導を充実する。
- 生徒が主体的に考え、判断し、活動し、かつ達成感を味わうことができるように、「支援」「支持」の共通認識のもと、意図的な場の設定を行う。
- 生徒指導3機能を意識した学級経営を通して、生徒同士、生徒と教師の絆づくりを図る。

(5) 環境・美化の整備と安心・安全な学校生活の保障（保健安全部）

- 安全で快適な学校生活を送ることができるよう、環境整備及び施設管理に努め、清潔で安全な学校づくりを目指す。
- 職員の共通理解の下に、保健安全指導のめあてを共有しながら、見通しを持った指導に努める。
- 心身共に健康で安全な生活を送ることができるように、自ら望ましい生活習慣を形成しようとする態度を育む。
- 防災や安全に対する意識向上のため、体験活動を重視した体系的な防災教育及び安全教育を実施する。

7. 学校給食

1 学校給食の目的

学校給食は身体の発育期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた食事を提供して健康の保持増進を図るとともに、食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を養い、食事を通して好ましい人間関係の育成を図ろうとするものである。

2 学校給食の実施状況

(1) 小学校 完全給食・単独調理場方式（4校）

給食予定回数 年間186回

給食内容 週米飯3回、パン2回（米粉パン、米粉麺も一部使用）

(2) 中学校 完全給食・単独調理場方式（4校）

給食予定回数 年間175回

給食内容 週米飯3回、パン2回（米粉パン、米粉麺も一部使用）

3 学校給食費

(1) 小学校 1食につき340円（令和6年4月改定。保護者負担は300円）

(2) 中学校 1食につき390円（令和6年4月改定。保護者負担は350円）

4 給食の材料費に関する補助

(1) 米粉消費拡大補助金

岩沼産の米の消費拡大、食材価格の高騰対策、食育と地産地消の推進に繋げるため、岩沼産の米を使用した米粉パン（平成17年11月～）、米粉麺（平成20年4月～）に対して補助を行っている。

(2) 岩沼市学校給食食材費高騰対策補助金

令和4年度（令和4年7月以降）～令和6年度は食材費の高騰対策として、児童生徒1人1食につき40円の補助を行っている（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用）。令和4年度（7月以降）～令和5年度は保護者負担の給食費（小300円、中350円）に上乗せする形で補助を行い、令和6年度は給食費の増額改定を行った上で、保護者負担は据え置きとした。

5 米飯給食の導入

従来、学校給食はパンを中心とした小麦粉食の形態で実施されていたが、昭和51年の文部省令により米飯を学校給食に位置づけることとされた。当市では、昭和52年から週2回の米飯給食を導入している。その後、児童生徒の嗜好調査等、検討を重ね、昭和54年9月より週3回実施している。また、平成13年4月からは県内産ひとめぼれ一等米を使用している。

6 岩沼産リンゴゼリーの提供

食育の推進に当たって、地産地消を心掛け、食事に関する興味関心を持ってもらうとともに、郷土愛の育成にもつなげている。地場産物を使ったメニューを提供する中で、令和3年度からは、岩沼産のリンゴを使用したゼリーを学校給食で提供している。

また、より一層興味関心を持ってもらうため、令和5年度からは市内中学生を対象にゼリーのパッケージデザインを募集し、選ばれた1作品がパッケージとなったゼリーを学校給食で提供した。併せて、学校給食の紹介の一環として、次年度小学校1年生になる子どもを対象に、入学前説明会での配布も行った。

5 小学校給食費の推移

(単位：円) ()は市費からの補助含む。

年度	給食回数	1食当たり	保護者負担 (年額)	備 考
昭和 51	190	(142) 140	26,600	パン食5回
52	190	(173) 171	32,490	パン食3回 米飯2回
55	190	(199) 196	37,240	パン食2回 米飯3回
56	190	(207.63) 200.63	38,880	〃
59	190	(216.26) 213.26	40,520	〃
61	190	220	41,800	〃
平成 元	186	225	41,850	〃
4	186	240	44,640	〃
10	186	270	50,220	〃
20	186	(272.33) 270	50,220	〃
25	186	270	50,220	〃
26	185	280	51,800	〃
27	186	280	52,080	〃
28	183	280	51,240	〃
29	183	280	51,240	〃
30	183	280	51,240	〃
令和 元	183	280	51,240	〃
2	175	300	52,500	※ 〃
3	186	300	55,800	〃
4	186	(7月以降、340) 300	55,800	〃
5	186	(340) 300	55,800	〃
6	186	(340) 300	55,800	〃

※新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年3月2日～5月31日まで小中学校臨時休業にした。
また、夏季休業を8月8日～8月19日、冬季休業を12月24日～翌年1月4日に短縮した。

IV 生涯学習

1. 社会教育事業

1 青少年健全育成事業

事業名	目的及び内容	実施時期	対 象
青少年室 相談事業	青少年室相談員が青少年の悩みなどについて、電話や面接によって相談を受ける。	通年 (月～金)	青少年 市民
街頭巡回指導	公園や店舗等を巡回し、青少年の非行を防止し健全育成に努める。また、市内の電柱等に貼付されている有害広告物を撤去する。	毎月	青少年
ジュニア・リーダー 初級研修会	子ども会活動の充実を図るため、研修を行い、指導者を養成するとともに、青少年のボランティア活動、社会参加活動に対する意識の高揚を図る。	7 月	中学生 高校生
ジュニア・リーダー 中・上級研修会派遣	子ども会活動の充実を図るため、子ども会指導者として養成する。	中級 8 月 上級 12 月	〈中級〉 ジュニア・リーダー 初級研修 修了者 〈上級〉 ジュニア・リーダー 中級研修 修了者
子ども合宿 (きつずでいきゃんぷ)	子どもたちが自然体験活動を通して自主性や協調性を学ぶ。子ども会の直接指導者となるジュニア・リーダーが活動指導にあたる。岩沼市ジュニア・リーダー協議会主催。	11 月	小学 5・6年生
二十歳を祝う会	20 歳となった若者を祝福する。	令和 7 年 1 月	平成 16.4.2 ～平成 17.4.1 生まれの方

2 社会教育の推進

事業名	目的及び内容	実施時期	対象
社会教育団体 育成事業	社会教育関係団体の活動を支援する。	通年	市民
人材登録制度 導入事業	生涯学習活動の支援として、人材バンク登録制度を活用する。	通年	市民
子育て・親育ち講座	子を持つ親に対するきめ細やかな家庭教育支援を行うことを目的とした事業。小・中学校で実施。	通年	保護者
コラボスクール 推進事業	地域と学校との協働により、地域の特色を活かした体験活動等の教育実践を行う。	通年	市内4小学校 と地域住民
放課後子ども 教室推進事業	放課後、小学校の余裕教室を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ、文化活動等に取り組む。	6月～2月	登録児童 関係団体 ボランティア
防災キャンプ	地域と学校との協働により、子どもたちに防災に関する知識と実践力を養うことを目的とした事業。	通年	児童
「はらこ飯」に 関する学習	岩沼で昔から親しまれてきた「はらこ飯」の作り方や歴史を学び、郷土と伝統文化について理解を深める。	10月	児童 生徒
松尾芭蕉「奥の細道」 いわぬま二木の松 俳句大会	岩沼の歴史と文化・観光地を題材とした俳句づくりを通して、表現の面白さを学び、芭蕉の心にふれる。	1月～2月	小学生等
市史資料活用事業	市史編纂などにより、これまで長年に渡って収集してきた歴史史料を整理し公開を進めるとともに、市史及び史料の活用を行う。	通年	市民

2. 文化財保護事業

1 文化財の保護と活用

事業名	目的及び内容	実施時期
ふるさと展示室	市民図書館内に併設された「ふるさと展示室」において、歴史資料・民具等の展示を行い、文化財に対する愛護意識の高揚を図る。	通年
文化財企画展		年3～4回
埋蔵文化財の発掘	開発等に伴う遺跡の発掘調査等を行う。	通年
文化財めぐり	市内外の文化財を広く市民に紹介し、文化財に対する愛護意識の高揚を図る。	11月
文化財標柱の設置	埋蔵文化財等の周知とその保存を図る。	随時
文化財パトロール	市内の文化財の状況を常時把握し、文化財保護に万全を期する。	通年
文化財出前講座	小・中学校などの学習内容に即した希望するテーマで、市内の文化財や収蔵資料を用いて解説し、郷土愛の育成を図る。	随時



竹駒神社唐門（県指定）



ふるさと展示室



竹駒神社境内三社（市指定）
【愛宕神社・八幡神社・総社宮】



武隈の松〔二木の松〕
（国及び市指定）



原遺跡
大型の掘立柱建物跡（北西から）

2 指定文化財一覧

種 別			名 称 (所在地)	写 真	内 容	指 定 年月日
国 指 定	記 念 物	名 勝	「おくのほそ道 の風景地」 武隈の松 (二木二丁目)		俳聖・松尾芭蕉が記した紀行文学である『おくのほそ道』に登場し、「桜より 松は二木を 三月越し」の句を詠んだことで広く知られる。	平成26年 3月18日
			かめ塚古墳 (字亀塚)		水田内に位置する前方後円墳。発掘調査の結果、前方部、後円部とも後世に削平されていることが明らかとなり、本来は全長約50mの古墳であったと推定されている。	昭和25年 9月25日
県 指 定	有 形 文 化 財	建 造 物	竹駒神社唐門 (稲荷町)		唐門としては、県下最大級の建造物で、天保13年(1842)の建築である。	平成31年 2月15日
			米づくりの額 藍づくりの額 (下野郷字上中 筋愛宕神社)		仙台の画家菅井梅関の養子田龍の筆によるもので、明治20年頃の作と推定されている。2枚の額とも、1枚の中に1年を通した作業工程を描き込んでいる。	昭和48年 3月27日
市 指 定	有 形 文 化 財	建 造 物	竹駒神社楼門 【隨身門】 (稲荷町)		彫刻・意匠等に優れた重厚な二階門で、文化9年(1812)の建築である。	平成2年 5月11日
			竹駒神社境内三社 【愛宕神社】 【八幡神社】 【総社宮】 (稲荷町)		3社はいずれも一間社流造で、その建築様式から、江戸時代の特徴が見られる。(愛宕神社:江戸前期、八幡神社:江戸中期、総社宮:江戸後期)	令和2年 2月13日
			竹駒奴		奴道中としては全国でも数少なく芸術的にも意義がある。竹駒奴のくり出しは、初午大祭期間中の日曜日となっている。	昭和44年 5月29日
	記 念 物	天 然 記 念 物	二木の松 【武隈の松】 (二木二丁目)		みちのくの歌枕の中でもその詠歌の多いことでは屈指の名木である。	昭和44年 5月29日
			竹駒神社 馬事博物館		昭和13年(1938)開館。和と洋の意匠が調和する均整のとれた外観が近代建築遺産として高く評価されている。	令和3年 10月14日
国 登 録	有 形 文 化 財	建 造 物				

国 登 録	有 形 文 化 財	建 造 物	日 本 基 督 教 団 岩 沼 教 会		教会堂建築は矩形の礼拝堂に正方形の塔を組み合わせた形態で、宮城県内に現存する歴史的な教会堂では唯一の石造建築です。	令和 6 年 8 月 1 5 日
-------------	-----------------------	-------------	------------------------	---	--	-----------------------------

3. 社会体育事業

1 社会体育振興事業

行 事 名	期日又は期間	対象者	共催等
第36回 全国高校生銃剣道大会	7月27日(土)	高校生	岩沼市 (公社)全日本銃剣道連盟
2024 岩沼市長杯 総合スポーツ大会	各競技大会 (9月～12月)	市民	岩沼市 NPO法人岩沼市 体育協会 岩沼市スポーツ少年団 本部外
2024 いわぬまスポーツ フェスティバル	10月26日(土)	誰でも	岩沼市 岩沼市体育施設指定管理者 フクシ・オーエンス 共同事業体 NPO法人岩沼市 体育協会
岩沼市社会体育指導者 講習会	令和7年2月	スポーツ団体 の指導者等	NPO法人岩沼市体 育協会 岩沼市スポーツ少年団本 部

2 社会体育施設一覧

施設名		所在地	建築／開設 年月	敷地面積(㎡)	設備概要
				建物面積(㎡)	
岩 沼 市 総 合 体 育 館 (ビッグアリーナ)		里の杜一丁目1番 1号 T E L 24-4831 F A X 24-4174	平成 5年7月	11,037.81	メインアリーナ (観覧席 1,323 席) バレーボール 6人制 3面 〃 9人制 2面 テニス 3面 バドミントン 10面 卓 球 36台 サブアリーナ バレーボール 6人制 2面 〃 9人制 1面 バスケットボール 1面 バドミントン 3面 卓 球 16台 ランニングコース (1周 : 210m) 卓球室、トレーニングルーム、会議室
				8,311.31	
岩 沼 市 陸 上 競 技 場		里の杜一丁目1番 42号 T E L 24-1242	平成 2年3月	28,023.48	トラック 1周 : 400m 8レーン 3,000m 障害走用水濠 収容人員 5,000人 メインスタンド 1,860人 芝 生 席 3,140人
				1,898.42	
多目的グラウンド		里の杜一丁目 115番地の1	平成 3年10月	13,503.00	ソフトボール場2面
				44.98	サッカー場1面
				84.96	トイレ棟
朝日山 公 園	野 球 場	字荒井 37 番地	昭和 50年4月	9,744.00	野球場1面 観覧席あり
	テニスコート		昭和 52年9月	1,444.00	テニスコート2面 (Aコート・Bコート)
市 民 テ ニ ス コ ー ト		字荒井 36 番地	昭和 56年4月	2,178.48	テニスコート2面 (Cコート・Dコート)
				43.20	クラブハウス (トイレ、休憩室)

鍛冶スポーツ公園	南長谷字鍛冶 12 番地の 1	昭和 56 年 8 月	14,219.94	ソフトボール 1 面、グラウンド・ゴルフ トイレ棟
			7.92	
少年スポーツ公園	里の杜一丁目 175 番地の 3	昭和 63 年 6 月	3,839.00	遊具：コンビネーション遊具、 東屋、トイレ
			19.75	
矢野目運動広場	下野郷字館外 289 番地	平成 19 年 4 月	1632.40	広 場 トイレ
			21.26	



岩沼市総合体育館



岩沼市陸上競技場



多目的グラウンド



朝日山公園野球場



朝日山公園テニスコート



市民テニスコート



鍛冶スポーツ公園



少年スポーツ公園

3 各施設利用状況

年度/施設	総 体 育 館	合 陸 上 多 目 的 体 育 場	陸 上 多 目 的 体 育 場	朝 野 球 場	朝 日 山 朝 日 山 朝 日 山	民 市 テニスコート	阿 武 限 阿 武 限	鍛 冶 スポーツ 公園	二 の 倉 プ ー ル	小 学 校 体 育 館	中 学 校 体 育 館	小 学 校 庭 校	中 学 校 庭 校	合 計
H20年度	96,963	32,329	16,091	25,872	6,717	6,902	8,155	3,985	491	54,815	26,672	55,654	19,798	357,245
H21年度	98,921	34,528	13,776	23,405	4,998	7,426	6,978	4,241	0	53,273	24,949	46,458	11,505	333,039
H22年度	85,938	38,586	16,172	23,942	7,310	5,427	6,677	2,730	0	63,965	27,170	51,751	12,320	346,231
H23年度	14,190	29,134			5,570	4,866	3,826	4,460	0	55,248	29,571	42,968	6,560	196,393
H24年度	7,899	38,974		14,749	6,116	8,065	6,395	2,008	300	43,265	29,450	42,099	8,513	207,833
H25年度	12,744	35,569		29,852	8,328	5,260	5,134	4,339	200	42,837	34,291	37,313	11,182	227,049
H26年度	63,326	35,820		25,794	7,662	6,683	7,411	2,981	200	45,407	35,891	40,355	7,142	278,672
H27年度	69,469	36,638		27,149	7,680	5,591	9,444	2,750	400	53,336	29,888	45,097	5,495	292,937
H28年度	72,225	35,038	3,660	29,932	7,351	7,500	9,380	2,115	475	49,923	31,476	39,176	4,383	292,634
H29年度	78,582	33,814	16,982	29,236	6,167	12,802	18,852		374	56,325	33,981	41,981	5,458	334,554
H30年度	80,453	10,781	20,116	29,687	6,421	12,400	15,625		360	53,112	27,509	41,758	6,468	304,690
R元年度	91,604	26,261	13,688	24,704	3,797	3,137	4,158		643	20,883	16,234	23,289	4,866	233,264
R2年度	51,093	22,377	12,346	18,619	2,096	1,993	2,538		413	11,028	8,150	1,450	80	132,183
R3年度	19,860	27,651	12,578	0	1,922	2,705	2,950		474	18,171	9,861	1,118	0	97,290
R4年度	62,519	29,623	15,510	0	2,819	3,166	3,154		335	24,610	16,621	26,524	6,640	191,521
R5年度	87,535	30,099	22,387		3,453	3,768	3,613		320	26,621	25,286	32,803	8,062	243,947

※H30年度陸上競技場の利用人数は、改修工事のためH30年4月～6月までの人数となっています。

※R2年2月29日～R2年5月17日、R3年3月27日～R3年5月11日、R3年8月27日～9月12日の期間は、新型コロナウイルス感染症対策のため

全施設を閉鎖していました。

※福島県沖地震の影響で、R3年2月14日からR4年6月末まで総合体育館のメインアリーナ及びサブアリーナを閉鎖しました。

※体育センターはR3年度以降、新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用しています。

※体育センターはR6・4月より廃止となっています。

V 社会教育機関

1. 市民会館・中央公民館

郵便番号 989-2427
住所 岩沼市里の杜一丁目2番45号
電話 0223-23-3434
23-3450
FAX 0223-23-3451



1 運営方針

岩沼市民憲章が目指す“文化の香りも高く、健康で、活力に満ちた郷土づくり”の理想へ向け、豊かな情操と優れた創造力を養える場とする。

- (1) 地域社会の「交流活動の場」となる機能の実現
- (2) 生涯にわたる生きがいのある学習機会の充実
- (3) 魅力ある地域文化活動の推進を重点に、市民の生涯学習を踏まえた施設として機能する運営を行うものとする。

2 市民会館の役割

魅力ある地域文化活動の推進を図る。

- (1) 地域住民（広域的意義を含む）の社会教育振興の必要と要求に応える場
- (2) 芸術文化の創造と人材の発掘の場
- (3) 伝統及び歴史的文化を正しく受け継ぐ場

3 中央公民館の役割

地域社会の「交流活動の場」となる機能の実現、生涯にわたる生きがいのある学習機会の充実を図る。

- (1) 市民の生涯にわたる（ライフステージ）学習活動の場
- (2) 市民の社会生活向上の場
- (3) 市民の情報交換の場
- (4) 諸団体、機関との連絡と調整の場

4 市民会館イベント情報（令和6年度岩沼市民会館自主事業予定表）

月 日	催 し 物 名	時間	入場料	席種
5 月 25 日(土)	いわぬま歌のおんがく会 (大ホール) 共催事業	開演 13:00	入場無料	自由
6 月 16 日(日)	リバーサイドブラス in2024 (大ホール) 共催事業	開演 13:30	一般 500 円 小学生以下無料	自由
7 月 13 日(土)	TEAM パフォーマンスラボ ガチャピン・ムックのサーカス エコロジカル (大ホール) 主催事業	開演 14:00	一般 2,000 円 高校生以下 500 円 2 歳以下ひざ上無料	指定
8 月 25 日(日)	仙台フィルハーモニー管弦楽団 特別演奏会 「マイタウンコンサート in 岩沼」 (大ホール) 共催事業	開演 15:00	一般 3,000 円 学生 1,500 円 会員 500 円引	自由
10 月 5 日(土)	陸上自衛隊東北方面音楽隊 岩沼ふれあいコンサート (大ホール) 主催事業	開演 14:00	無料 (要申込・抽選)	指定
10 月 6 日(日)	水谷千重子 ありがとうコンサート (大ホール) 主催事業	開演 14:00	一般 3,000 円 会員 500 円引	指定
10 月 26 日(土) 27 日(日)	いわぬま市民劇団ウィープ 第 23 回定期公演 (中ホール) 共催事業	全 3 回	一般 1,000 円 当日 1,300 円 高校生 500 円 中学生以下無料	自由
11 月 24 日(日)	箏・尺八によるコンサート 杜に吹く風 (大ホール) 共催事業	開演 13:00	一般 3,000 円 高校生 1,500 円 中学生以下無料 会員 500 円引	自由
12 月 1 日(日)	みんなで歌う第九の会 第 38 回演奏会 (大ホール) 共催事業	開演 15:00	一般 4,000 円 (指定) 3,500 円 (自由)	自由 一部指定

9 事業 1 1 公演

5 令和6年度 中央公民館 主催教室

(1) 成人教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
あみもの教室	6月～2月	9	15	毎月第1金曜日 10:00～12:00
わび・さび 茶道教室	6月～2月	8	15	毎月第2火曜日 10:00～12:00
のびのび体操教室	6月～12月	6	40	毎月第1水曜日 10:00～12:00
みんなで パン作り教室プラス	6月～1月	7	16	毎月第3火曜日 10:00～13:30
筆文字のある暮らし 教室	6月～11月	午前6 午後6	午前20 午後20	毎月第1木曜日 午前10:00～11:30 午後13:30～15:00
人生設計の最終盤を 考えるマネー塾	7月～9月	3	20	毎月第1水曜日 9:30～11:30
木の枝を使った ものづくり教室	7月、9月、 11月	3	15	第4金曜日 13:30～15:30
奥の細道入門講座	8月～9月	4	20	隔週木曜日 10:00～11:30

(2) 高齢者教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
寿 大 学	6月～12月	6	60	毎月第3水曜日 10:00～11:30

6 令和6年度 中央公民館主催 玉浦教室

会場：玉浦コミュニティセンター

郵便番号 989-2429

住所 岩沼市恵み野二丁目3番地

電話 0223-35-7234

(1) 成人教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
たまうら郷学	7月、9月 11月	3	30	各月第3水曜日 10:00～11:30
花のある暮らし教室	6月～1月	7	20	毎月第4火曜日 10:00～12:00
手作り教室 何でもトライ	7月、9月 10月、12月	4	25	第3金曜日 10:00～12:00

(2) 高齢者教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
松風大学	6月～12月	6	40	毎月第2水曜日 10:00～11:30

※平成29年4月30日、玉浦公民館閉館。中央公民館に事業を集約し、玉浦コミュニティセンターへの出張教室として教室を継続する。

※令和2年4月1日、施設運営を市職員による直営方式から指定管理者（玉浦まちづくり協議会）への委託方式に変更。教室運営は市職員による直営方式（中央公民館職員が出張して運営）を維持。

7 令和6年度 中央公民館主催 西教室

会場：岩沼西コミュニティセンター

郵便番号

989-2455

住所

岩沼市北長谷字内田90-1

電話

0223-36-7667

(1) 成人教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
岩沼ヒストリア	6月～11月	6	50	毎月第2火曜日 13:30～15:00
陶芸教室	6月～11月	5	10	毎月第2水曜日 13:30～15:30
ビューティー スタイルアップ ウォーキング	6月～12月	7	15	毎月第4木曜日 10:00～11:00
ギター教室	6月～3月	15	20	毎月第4木曜日 10:00～12:00
みんなの将棋教室	7月～8月	5	30	隔週金曜日 10:00～12:00

(2) 高齢者教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
松寿大学	6月～12月	6	40	毎月第2火曜日 10:00～11:30

※令和4年3月31日、西公民館閉館。中央公民館に事業を集約し、岩沼西コミュニティセンターへの出張教室として教室を継続する。

※令和4年4月1日、教室運営は市職員による直営方式（中央公民館職員としての併任辞令）を維持。

8 市民会館・中央公民館利用状況

(1) 市民会館

年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
開館日数	3 1 6		1 7 7		2 4 0		3 4 5		3 4 6	
利用	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
大ホール	211	47,227	36	4,917	118	17,058	226	45,215	176	34,879
中ホール	347	18,425	170	3,752	226	6,604	344	13,643	367	13,283
リハーサル室	315	4,278	121	784	230	2,167	311	3,635	287	3,779
合計	873	69,930	327	9,453	574	25,829	881	62,493	830	51,941
一日平均利用者数	2 2 1		5 3		1 0 8		1 8 1		1 5 0	

(2) 中央公民館

年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度	
開館日数		３１６		２８１		２８８		３４５		３４６	
利用		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
会議室	第２	164	2,317	124	936	117	846	134	1,427	185	1,912
	第３	251	2,151	123	931	155	861	221	2,035	260	1,614
	第４	105	1,401	0	0	47	265	76	935	82	929
	第５	154	3,571	120	1,327	114	1,415	149	2,535	146	2,691
視聴覚室		246	5,740	188	2,654	181	2,418	255	4,754	225	3,684
調理実習室		36	646	6	73	21	116	18	341	27	335
和室		202	1,915	152	1,128	192	1,398	197	1,655	131	1,122
展示ホール		3	－	0	－	2	－	2	－	2	－
全館（複室）利用		46	大ホールに含む	2	大ホールに含む	36	大ホールに含む	31	大ホールに含む	33	大ホールに含む
合計		1,161	17,741	713	7,049	829	7,319	1,052	13,682	1,058	12,287
一日平均利用者数		５６		２５		２５		４０		３６	

2. 市民図書館

郵便番号 989-2448
住所 岩沼市二木二丁目8番1号
電話 0223-24-3131
FAX 0223-25-1713



1 運営基本方針

岩沼市民図書館の設置及び管理に関する条例第2条（設置）に基づき、図書、文化財等の必要な資料の収集、整理、保存をととして市民の教養の向上及び生涯学習活動に資するよう、以下の基本方針により本館を運営する。

- (1) 市民の生涯学習を支援する図書館をめざす。
- (2) 市民のコミュニケーション空間としての図書館をめざす。
- (3) 地域情報の集積・提供の拠点としての図書館をめざす。
- (4) きめの細かい図書館サービスで地域に無くてはならない図書館をめざす。
- (5) 常に運営状況の点検・評価を行い、前進する図書館をめざす。

2 主な施策

- (1) 一般書、児童書、視聴覚資料等、図書館資料を計画的に整備する。
- (2) 利用者の利便性の向上のため、分類、排架、目録等書誌データを整備する。
- (3) ホームページや利用者開放端末からの検索機能を用いて蔵書公開を容易にする。
- (4) インターネット予約、読書案内、レファレンスサービス等を充実させ、図書館サービスの質の向上に努める。
- (5) 市広報誌や図書館だよりを活用して広報を充実させる。
- (6) ボランティア団体及び図書館主催の「読み聞かせ おはなし会」を充実させる。
- (7) 東西分館の図書資料整備と利用促進を図る。
- (8) 市内小・中学校及び高等学校との関係を深め、学校図書館との連携を図る。
- (9) ふるさと展示室、セミナールーム・まちかどギャラリーの利用促進を図る。

3 令和6年度事業計画

事業名		実施内容	備考
図書館蔵書整備		新刊図書資料の購入等による蔵書の充実	図書、視聴覚資料等 3, 8 4 2点購入予定
図書館主催行事等			
こども 関連 読書 行事 週間	◎ 絵本の展示	絵本作品の展示 テーマは「広い世界」	4月27日(土)～5月14日(火)
	◎ 特別おはなし会	通常のおはなし会の時間・内容を拡大、充実させたおはなし会	4月25日(木)
	◎ 豆本づくり・書庫見学ツアー	親子で豆本作成と書庫などの図書館バックヤード見学	5月5日(日)
◎ 手づくり絵本教室		オリジナル絵本の製作	8月7日(水)～9日(金)
◎ DVD上映会		大人向けDVD上映会	未定
		子ども向けDVD上映会	未定
◎ 第13回文化講演会		検討中	検討中
◎ 初心者向け 読み聞かせ研修会		検討中	検討中
◎ 読み聞かせボランティア ステップアップ講座		絵本作家 早川純子氏による講演会 ※読み聞かせボランティアネットワーク岩沼との共催	10月11日(金)
◎ ナイトライブラリー		夜間の図書館内を案内、おはなし会の開催	検討中
◎ 朗読のひととき		朗読の会「こだま」と共催、関連する書籍の展示紹介	3月
◎ まちかどギャラリー 周知事業		・兄弟展(書と写真展示4月～5月)・水彩画展(6月)・文化財パネル展(8月)・第11回まちかど絵画展(9月)・児童生徒科学展(10月)・志賀一男展(11月)・二木の松俳句展(2月)	4月～3月
◎ 読書週間関連行事		手づくり絵本教室の作品展示	10月27日(日)～11月9日(土)
		ミニリサイクル市(除籍後の本・雑誌)	10月31日(木)～11月4日(月)
◎ おたのしみ福袋貸出		福袋として絵本・児童書のセット貸出	1月5日(日)～なくなり次第 未就学児・低・中・高学年各10袋
◎ おはなし会		市民図書館によるおはなし会(第2・第4・第5木曜日)	職員及びボランティア団体の協力による開催
		よみかせサークルによるおはなし会 ・おひざにだっこダンボの会(第1・第3木曜日) ・語りっこいわぬま(第2日曜日)	月1～2回 各サークル主催で実施
◎ 図書資料展示		テーマ別本の展示 時宜にかなったテーマを設定し、関連した 一般書・児童書を展示 郷土資料の展示 岩沼に関する資料の展示	通 年
○ 就労体験 職場体験(中学生)・インターンシップ(高校生・障がい者等) 実習生の受入れ ※申込のある場合 ○ 施設見学 小学生の受入れ ※申込のある場合 ○ 広報活動 「利用の案内」：図書館等で配布 「ホームページ」：蔵書検索・図書館行事案内等提供 「としょかんだより」・「あいあい通信」：毎月発行 ○ その他 「ブックリスト」：随時発行			

3. 社会教育施設等一覧

施設名	所在地	建築/開設 年月	敷地面積 (㎡)	建 物	
				構 造	面積 (㎡)
市 民 会 館	岩沼市里の杜一丁目 2 番 45 号 TEL 23-3434 TEL 23-3450 FAX 23-3451	昭和 61 年 5 月	31,355.46	一部鉄骨鉄筋 地下 1 階 地上 2 階 塔屋 2 階建	6,048.11
中 央 公 民 館					
市 民 図 書 館	岩沼市二木二丁目 8 番 1 号 TEL 24-3131 FAX 25-1713	平成 23 年 5 月	3,633.85	鉄骨造 2 階建	3,018.60
市 民 図 書 館 東分館 (玉浦コミュニティ センター内)	岩沼市恵み野二丁目 3 番地 TEL 35-7234	平成 29 年 5 月	—		—
市 民 図 書 館 西分館 (岩沼西コミュニテ ィセンター内)	岩沼市北長谷字内田 90 番地の 1 TEL 36-7667	令和 4 年 4 月	—		—
青少年室 (総合福祉センター内)	岩沼市里の杜三丁目 4 番 15 号 TEL 22-3333	昭和 55 年 4 月	—		—

VI 各種委員会委員等名簿

1. 学校医・学校歯科医・学校薬剤師

(任期 令和6年4月1日～令和7年3月31日)

学校名	学校医			歯科校医	学校薬剤師
	内科	耳鼻咽喉科	眼科		
岩沼小学校	板野 正敬	丹野 哲子	板橋 隆三	清水 達朗 清水 功之	関谷 政一
岩沼西小学校	森川貴美子	丹野 哲子	板橋 隆三	小島 一夫 鳥羽 透	関谷 宗英
玉浦小学校	板野 正敬	丹野 哲子	板橋 俊隆	東田 大輔	遠藤 要子
岩沼南小学校	板野 正敬	丹野 哲子	板橋 隆三	南舘 公雄	高梨 宏行
岩沼中学校	安田 直行	丹野 哲子	板橋 隆三	高藤 康夫	高梨 宏行
岩沼北中学校	大和田直樹	丹野 哲子	板橋 隆三	大内 宏文	関谷 宗英
玉浦中学校	大和田直樹	丹野 哲子	板橋 俊隆	荻原 裕志	遠藤 要子
岩沼西中学校	小林 誠	丹野 哲子	板橋 隆三	上中 恒徳	関谷 宗英

2. 障害児就学指導審議会委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏 名	備 考
板野 正敬	学校医
柴田 新二	南小校長
只野 悟	名取が丘校副校長
安達 正陽	西中教頭
小野寺奈緒子	岩小教諭
百足 央子	玉小教諭
小向由美子	西小教諭
村形 舞香	南小教諭
加藤 圭一	岩中教諭
八木沼麻里	玉中教諭
古川 明子	北中教諭

3. 通学路等安全対策推進会議委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏 名	備 考
山田 雅信	岩沼警察署交通課
大金 知子	仙台土木事務所
佐藤 和也	行政職員
橋本 朋子	行政職員
加藤かほる	玉小校長
安達 正陽	西中教頭
三浦 宗隆	PTA 連合会

4. いじめ問題対策連絡協議会委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏 名	備 考
佐藤 哲也	岩沼警察署生活安全課長
野呂 和代	仙台法務局人権擁護部
皆川 恭兵	県中央児童相談所
板野 正敬	学校保健会長
佐藤 隆信	青少年室運営協議会長
鈴木啓二郎	人権擁護委員代表
加藤かほる	玉小校長
佐藤 秋生	玉中校長
三浦 宗隆	南小 PTA 会長
小助川 啓	岩中 PTA 会長
野口 太郎	行政職員

5. いじめ問題対策推進委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏 名	備 考
加藤かほる	玉小校長
佐藤 秋生	玉中校長
守屋 聡	岩小教諭
眞野 太郎	玉小主幹教諭
青山 潤	西小教諭
隈川 貴文	南小教諭
奥山 拓弥	岩中教諭
晴佐久 晶	玉中主幹教諭
八木沼寛人	北中教諭
玉手 裕生	西中教諭
山田 桂	スクールソーシャルワーカー

6. 特別支援連携協議会委員

(任期 令和5年4月1日～令和6年3月31日)

氏 名	備 考
板野 正敬	学校医
勅使瓦理恵	名取高等学校校長
菅原 紀子	岩沼高等学園校長
只野 悟	名取支援学校名取が丘校副校長
柴田 新二	南小校長
秀城 智枝	J's 保育園園長
大塚加代子	岩沼南こばと幼稚園主幹教諭
後藤美智子	名取支援学校名取が丘校教諭
加藤 圭一	岩中教諭
村形 舞香	南小教諭
星 誠	行政職員
板橋 晋也	行政職員
野口 太郎	行政職員

7. 学校給食運営協議会委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏 名	備 考
柴田 新二	南小校長
池田 尚人	岩中校長
樋川 研吾	岩小校長
加茂 博行	北中校長
鈴木真奈美	西小 PTA 会長
小助川 啓	岩中 PTA 会長
三浦 貴之	玉中 PTA 会長
宇津井陽子	玉小栄養士
阿相美智子	西中栄養士
熊谷 真紀	西小養護教諭
晴佐久 晶	玉中主幹教諭

8. 社会教育委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏 名	備 考
齊 隆	教育指導専門監
柴田 新二	南小校長
佐藤 玲子	家庭教育
宇津井良子	社会教育
浅井みな子	社会教育

9. 文化財保護委員

(任期 令和5年4月1日～令和8年3月31日)

氏 名	備 考
千葉 宗久	考古学
永田 英明	古代史・交通史
新妻 茂雄	郷土史
菅井 幸徳	建築
徳竹亜紀子	考古史

10. 市民図書館運営協議会委員

(任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日)

氏 名	備 考
高橋 勝	教育指導専門監
新田 一夫	文化財友の会
石井ひとみ	岩小司書教諭
保科 桂子	岩沼読み聞かせネットワーク
伊藤 陽子	竹駒保育園園長
三浦 茂子	家庭教育支援チーム 「ほっぺの会」会長
安達 真里	おはなし広場 ぐうちょきばあ代表
鈴木 絢子	朗読の会こだま代表

11. 青少年室運営協議会委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏 名	備 考
佐藤 隆信	社会福祉協議会
勅使瓦理恵	名取高等学校校長
佐藤 哲也	岩沼警察署生活安全課長
柴田 新二	南小校長
佐藤 秋生	玉中校長
佐藤 育子	民生委員児童委員協議会 副会長
星 幸枝	民生委員児童委員協議会主 任児童員
鈴木 早苗	少年補導員協会少年補導員
小菅 寿美	北中 PTA 会長 PTA 連合会長
菅原亜由美	行政職員

12. 青少年室青少年相談員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏 名	備 考
氏家 隆文	少年補導員協会
大内たき子	少年補導員協会
森 武雄	民生委員児童委員協議会
武田 智子	社会福祉協議会
市村 聡	岩沼警察署
八巻 大樹	岩小教諭
菅原 直人	玉小教諭
青山 潤	西小教諭
隈川 貴文	南小教諭
奥山 拓弥	岩中教諭

氏 名	備 考
晴佐久 晶	玉中主幹教諭
八木沼寛人	北中教諭
玉手 裕生	西中教諭
本多 和宏	名取高主幹教諭
鎌田 潤一	岩小 PTA 会長
郡山 竜太	玉小 PTA 会長
三浦 宗隆	南小 PTA 会長
三浦 貴之	玉中 PTA 会長
小助川 啓	岩中 PTA 会長
鈴木真奈美	西小 PTA 会長

13. スポーツ推進審議会委員

(任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日)

氏 名	備 考
菅原 紀子	岩沼高等学園校長
松岡 治	スポーツ少年団本部長
池田 尚人	岩中校長
椎名 勝彦	前社会教育指導監
長田 勝吉	行政職員
菅原 良司	体育協会副理事長
三浦 説子	第2次岩沼市健康づくり 市民計画推進委員会
三上 光弘	体育協会監事

14. スポーツ推進委員

(任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日)

氏 名	備 考
菅原 良司	硬式テニス、スキー
酒井 信幸	剣道
折原美根子	バレーボール
星 幸枝	バレーボール、卓球
小野 一男	陸上競技
菊地 康之	ソフトテニス
菅井 清子	バドミントン
長田 育子	バレーボール
小野 孝	ソフトボール、ミニバスケットボール
工藤 悦子	バレーボール
小野 健一	バレーボール

教 育 要 覧

岩 沼

発 行 令和 6 年 8 月

編集発行 岩沼市教育委員会

岩沼市桜一丁目 6 番 2 0 号

電話 0223-23-0728 (学校教育課)

0223-23-0844 (生涯学習課)